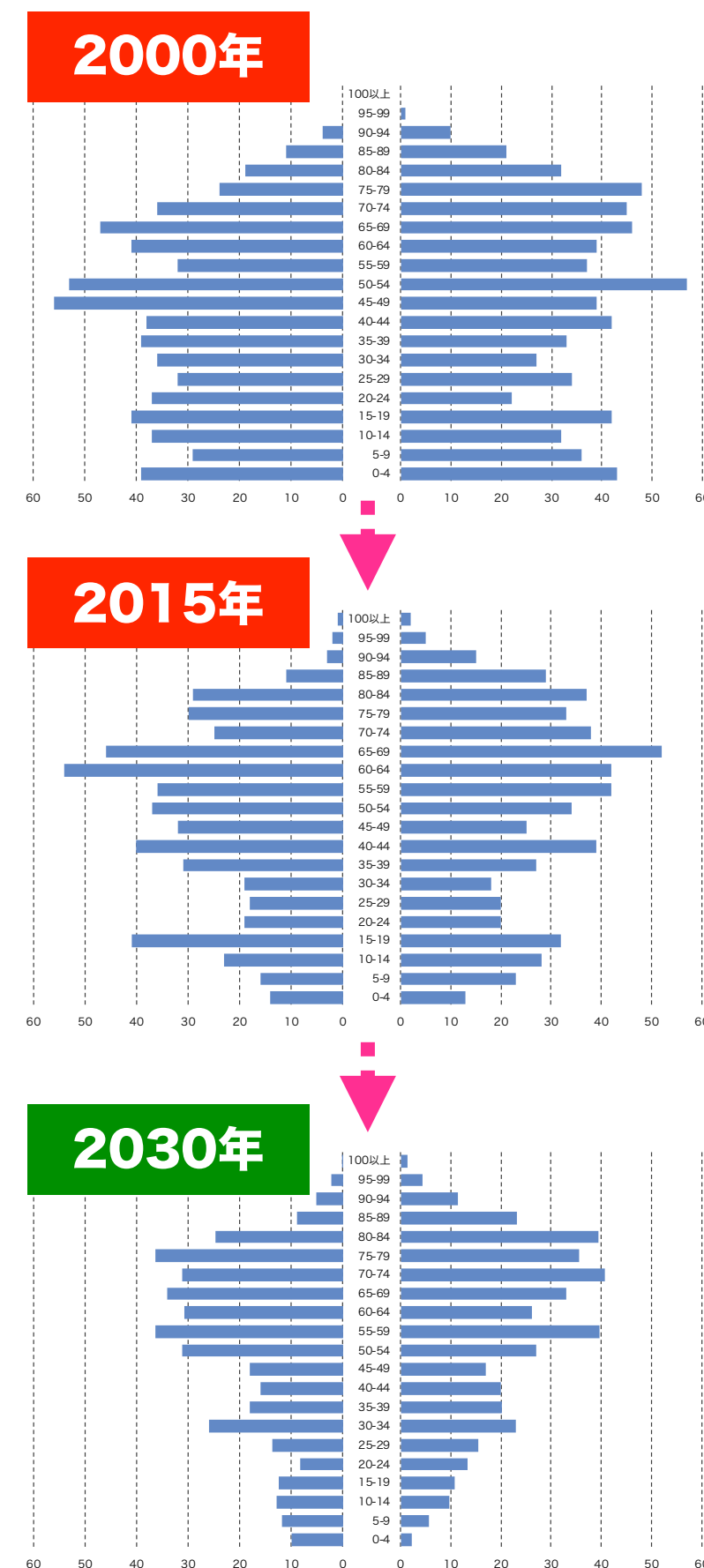


コミュニティ協議会権現堂の人口推移 (2000年～2030年)

3

2000年以降、地域の役員の担い手となる前期高齢者が減っています。年少・生産年齢人口も同様に、今後の担い手不足は避けられません。一方で、主に支えられる側の後期高齢者は2030年に人口の4人に1人を占めます。地域は人口減少とともに、後期高齢者が増加する高齢化の第2幕に直面しています。

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	1,337	1,282	1,199	1,101	998	902	808
0～14歳 (年少人口)	216	203	176	117	89	67	52
15～64歳 (生産年齢人口)	777	734	687	626	546	486	424
65～74歳 (前期高齢者)	174	171	139	161	185	161	139
75歳～ (後期高齢者)	170	174	197	197	178	188	193
85歳～	47	55	63	68	74	65	57
高齢化率	25.7%	26.9%	28.0%	32.5%	36.3%	38.7%	41.1%
後期高齢者率	12.7%	13.6%	16.4%	17.9%	17.8%	20.9%	23.9%



※2015年までは国勢調査結果、以降は国勢調査結果を用いた新潟NPO協会による簡易推計

【高齢化率×18歳未満同居世帯率】

横軸が総人口に占める65歳以上人口の割合を示す「高齢化率」で、縦軸が総世帯数に占める18歳未満の人員が同居している世帯の割合を示す「18歳未満同居世帯率」です。右側に行くほど、地域内に占める高齢者が、上に行くほど、若年世代と同居している世帯が、相対的に多いことを表しています。（青線は市平均値です）

同じ魚沼市内でも置かれている状況が異なることがわかります。権現堂は、高齢化率が市平均と同じ程度で、18歳未満同居世帯率が市平均よりも1割程度高い位置にいます。

市平均（青色の線）

高齢化率：32.9%

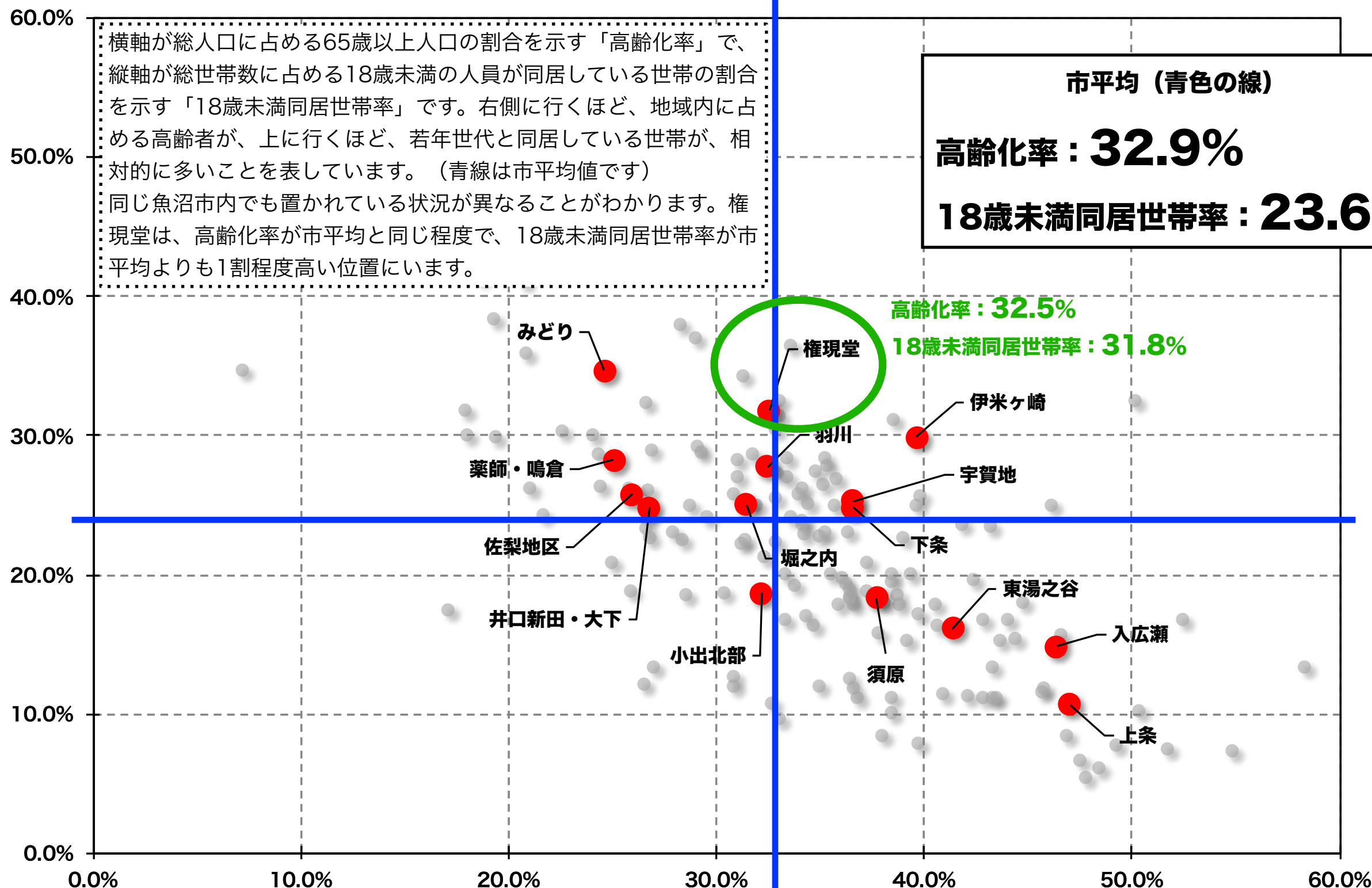
18歳未満同居世帯率：23.6%

高齢化率：32.5%
18歳未満同居世帯率：31.8%

18歳未満同居世帯率

高齢化率

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0%



【高齢化率×65歳以上独居世帯率】

横軸が総人口に占める65歳以上人口の割合を示す「高齢化率」で、縦軸が総世帯数に占める65歳以上の独居（一人暮らし）世帯の割合を示す「65歳以上独居世帯率」です。右側に行くほど、地域内に占める高齢者が、上に行くほど、高齢で一人暮らしの世帯が、相対的に多いことを表しています。（青線は市平均値です）

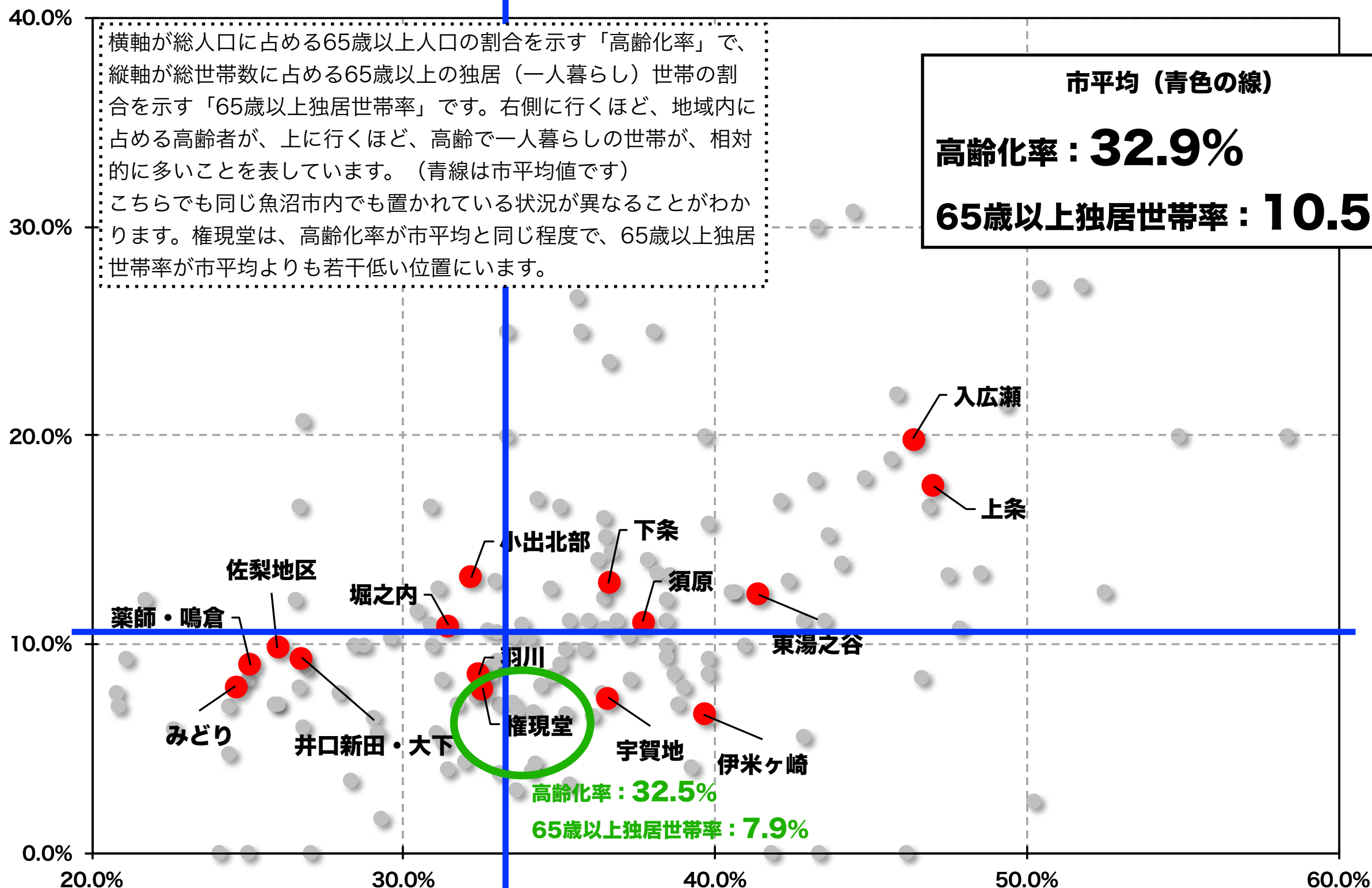
こちらでも同じ魚沼市内でも置かれている状況が異なることがわかります。権現堂は、高齢化率が市平均と同じ程度で、65歳以上独居世帯率が市平均よりも若干低い位置にいます。

市平均（青色の線）

高齢化率：32.9%

65歳以上独居世帯率：10.5%

65歳以上独居世帯率



高齢化率

●実施：コミュニティ協議会権現堂

●分析：認定NPO法人新潟NPO協会

急速に進行する人口減少・少子高齢化によって生じてくる様々な課題や問題点を明らかにし、「互いに助け合える地域づくり」「魅力ある地域づくり」を目指した話し合いの場のきっかけづくりのために実施しました。

中学生以上の全住民を対象として行うことで、若者世代や女性の意見も見えるようになっています。

配布数：904 回収数：782
回収率：86.5%

コミ協ごんげん地域の住民アンケートの実施について

日頃よりコミ協「ごんげん」の運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
全国的に少子高齢化が進むなか、コミ協ごんげんの4集落では平成31年3月末に65歳以上の割合が平均で36%を超え、最近5年間の人口減少率も10%を超える状況となっています。
このアンケートは、急速に進行する人口減少・少子高齢化によって生じてくる様々な課題や問題点を明らかにするため、この地域の中学生以上全員にアンケートを実施するものです。
お忙しいところ設問数も多く大変お手数をお掛けしますが、「互いに助け合える地域づくり」「魅力ある地域づくり」を目指した話し合いの場のきっかけづくりのために実施する大切なアンケートですので、ぜひご協力をお願いいたします。

令和元年10月

コミ協ごんげん会長 青山 春彦
中島新田区長 小幡 中治
今泉区長 新島 耕一
江口区長 山本 賢一
長松区長 山本 貞雄

【調査表について】

- 12歳以上（中学生以上）の方全員にお答えいただきます。
- アンケート用紙は、それぞれが封筒に入れて提出してください。
- ご家族で回答内容をチェックしていただく必要はありません。
- 回答は無記名をお願いします。
- 回答の結果は、個人を特定しないように、地域の現状把握の調査にのみ用います。

*回収日は10月25日（金）です。

とても高い回収率。

みなさんの関心・期待の高さが伺える！！！！

回答者属性

- 01 年齢
- 02 性別
- 03 住まい
- 04 家族構成
- 05 出身地
- 06 職業

移動・目的

- 07 買い物・通院場所
- 08 交通手段（買い物）
- 09 交通手段（通院）
- 10 交通手段（日常）

身寄り

- 11 相談できる人の有無
- 12 身寄りの有無、住まい

農地

- 13 田畑の所有
- 14 今後の田畑の管理

地域運営

- 15 団体の所属
- 16 団体の希望
- 17 祭り等への参加
- 18 共同作業への参加
- 19 集落内の付き合い
- 20 若者や女性の声の反映
- 21 移住者の受け入れ
- 22 他地域との交流

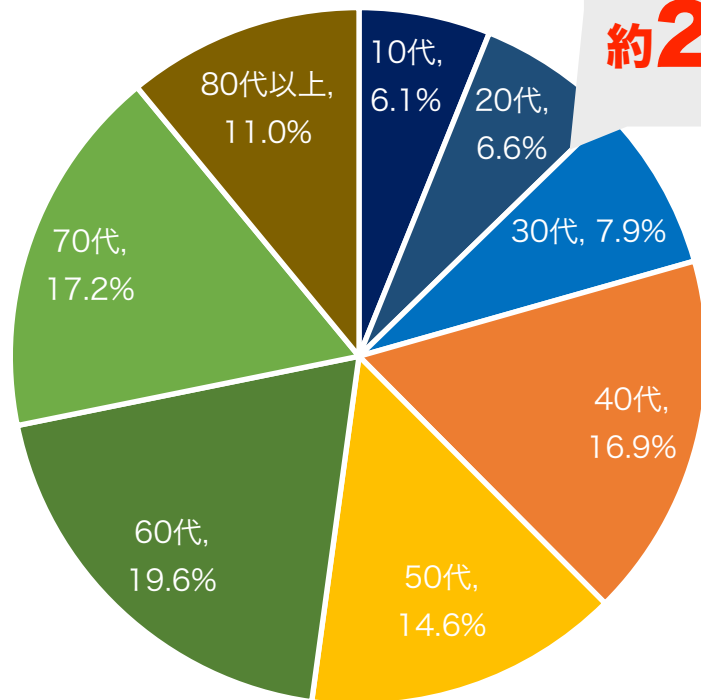
地域愛

- 23 住み続けたいか？
- 24 子どもに住み続けてほしいか
- 25 地域が良いところと思うか
- 26 地域で愛着を感じるもの
- 27 地域に対する思いの変化
- 28 あなたにとって住みやすい地域は？

課題

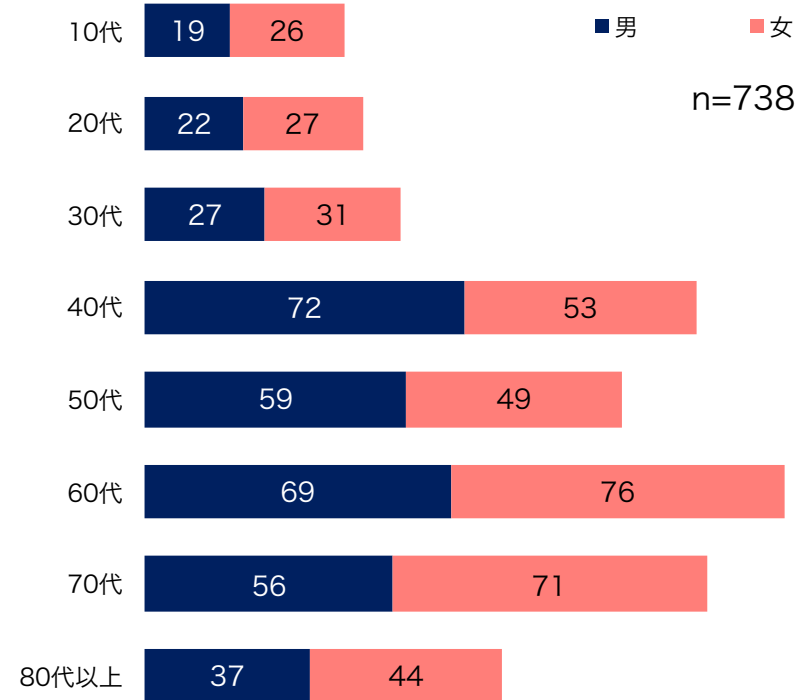
- 29 地域活動の重要度と満足度
- 30 日常生活の不安・困りごと

回答者属性（年代別）



30代以下は
約20%

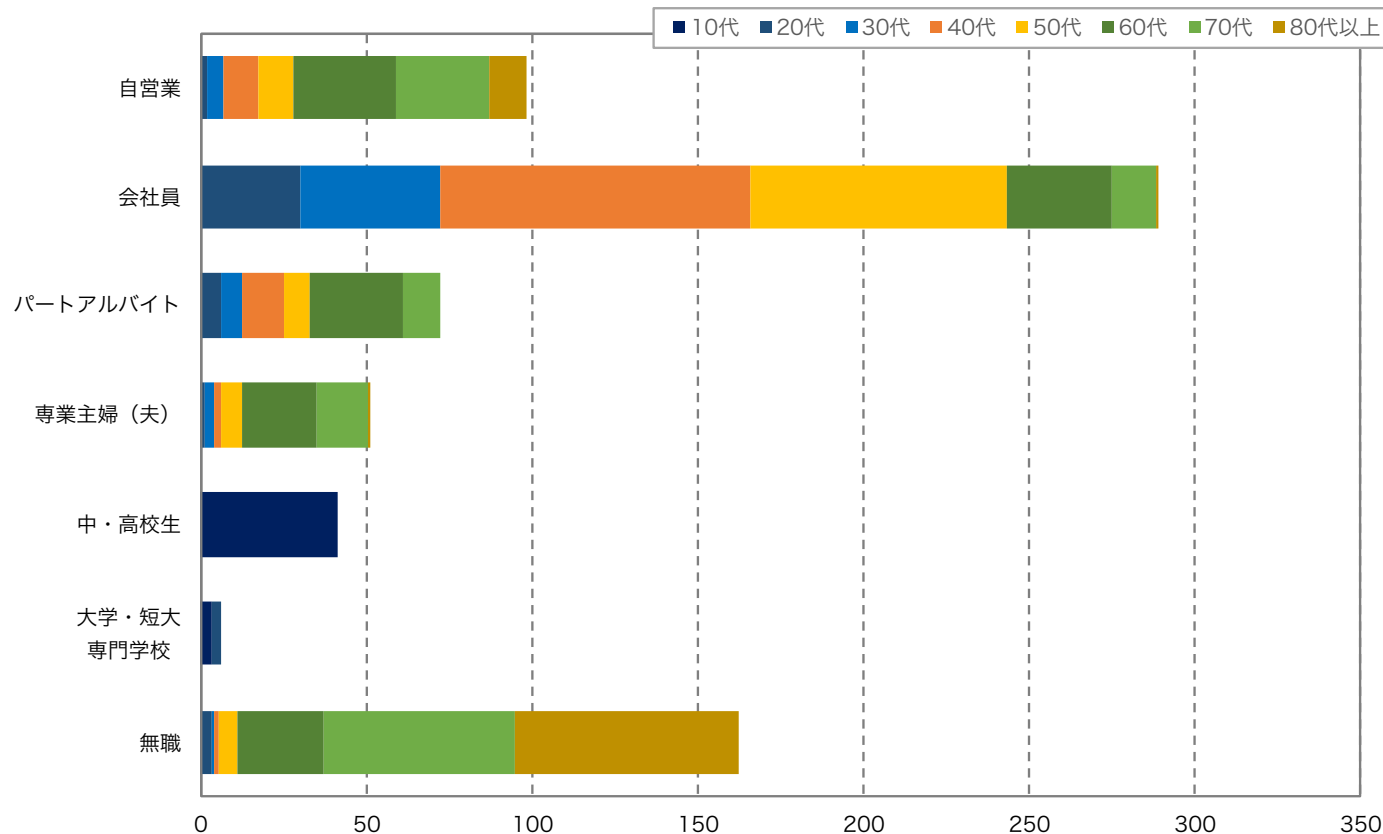
回答者属性（年代別×男女別）



POINT 世代別に意見を聞かないと埋没する

地域内において若者世代は少数派（マイノリティ）です。10年後、20年後に地域の担い手となる世代の意見をどう取り入れていくかも大切な視点になります。

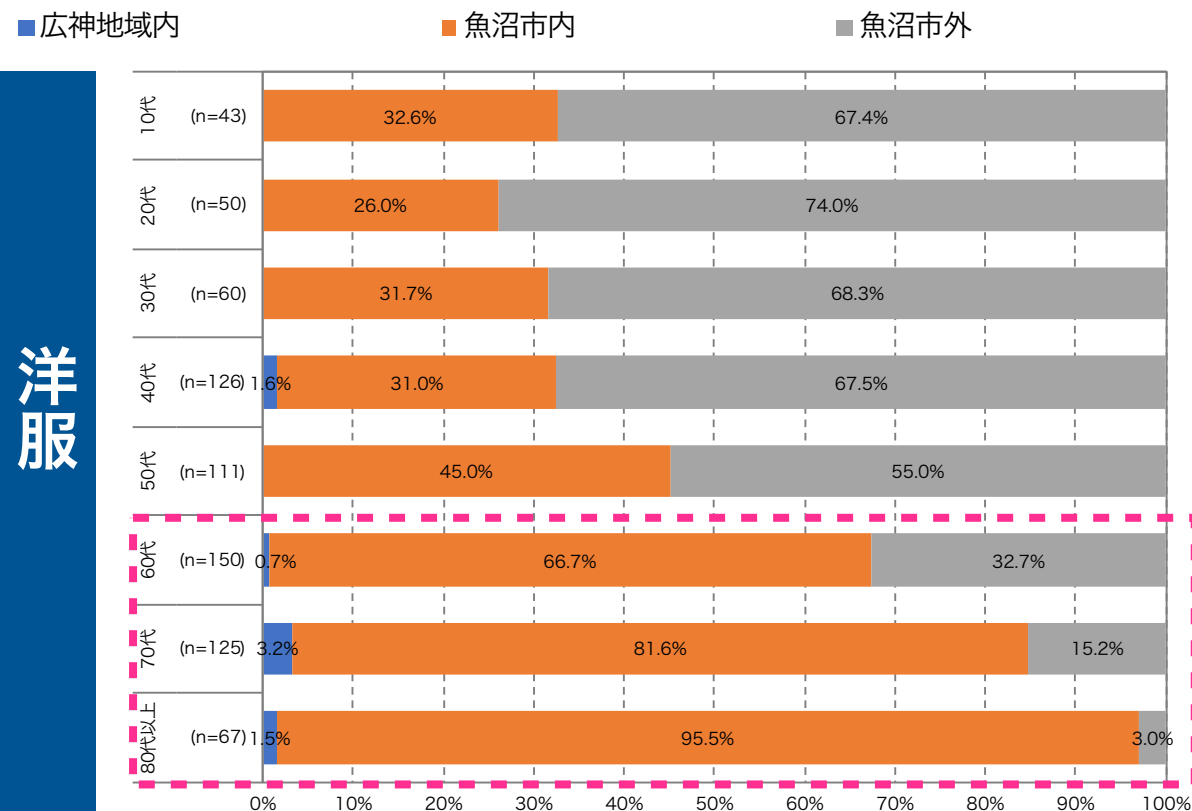
回答者属性（職業×年代別）



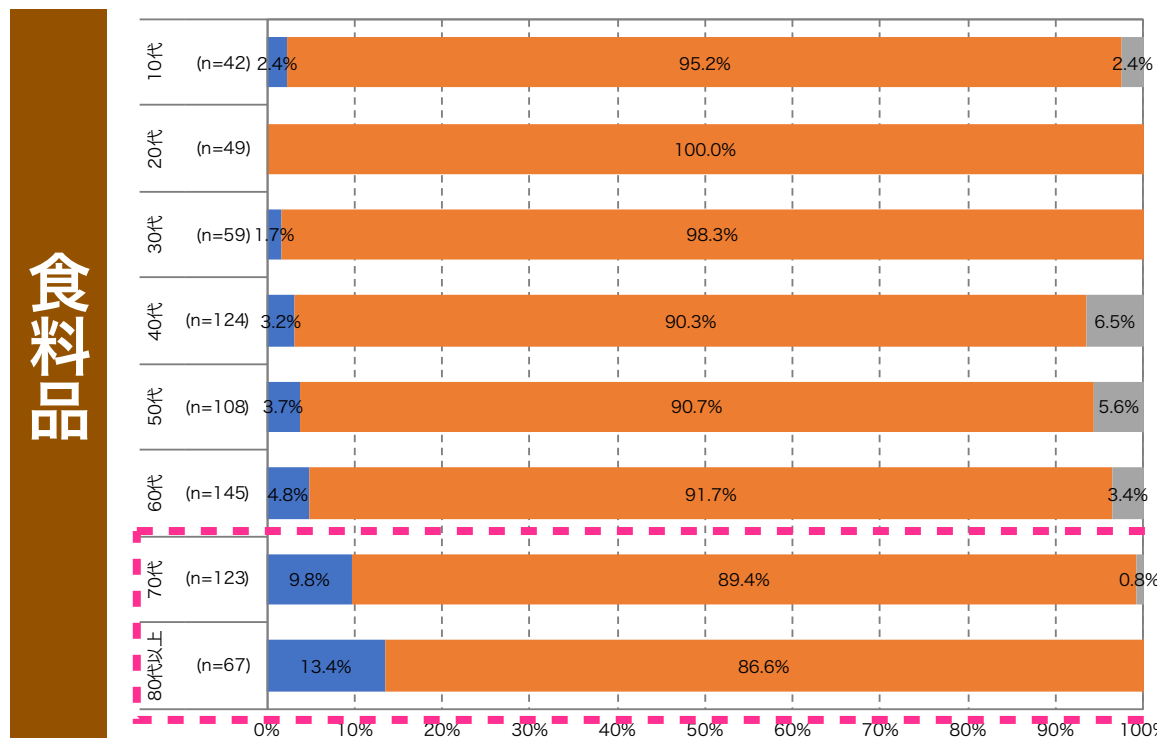
POINT 世代によって使える時間の自由度が異なる

50代以下は会社員として仕事をしている割合が高い。つまり、その世代は日中は地域外に出ている可能性が高いと言えます。一方、60代以上は自営業や無職の割合が高く、地域内にいる時間が長いと考えられます。このように、世代によって使える時間の自由度が異なっている現状があり、働いている世代を地域の活動に誘う際にも相手に合わせる配慮が求められます。

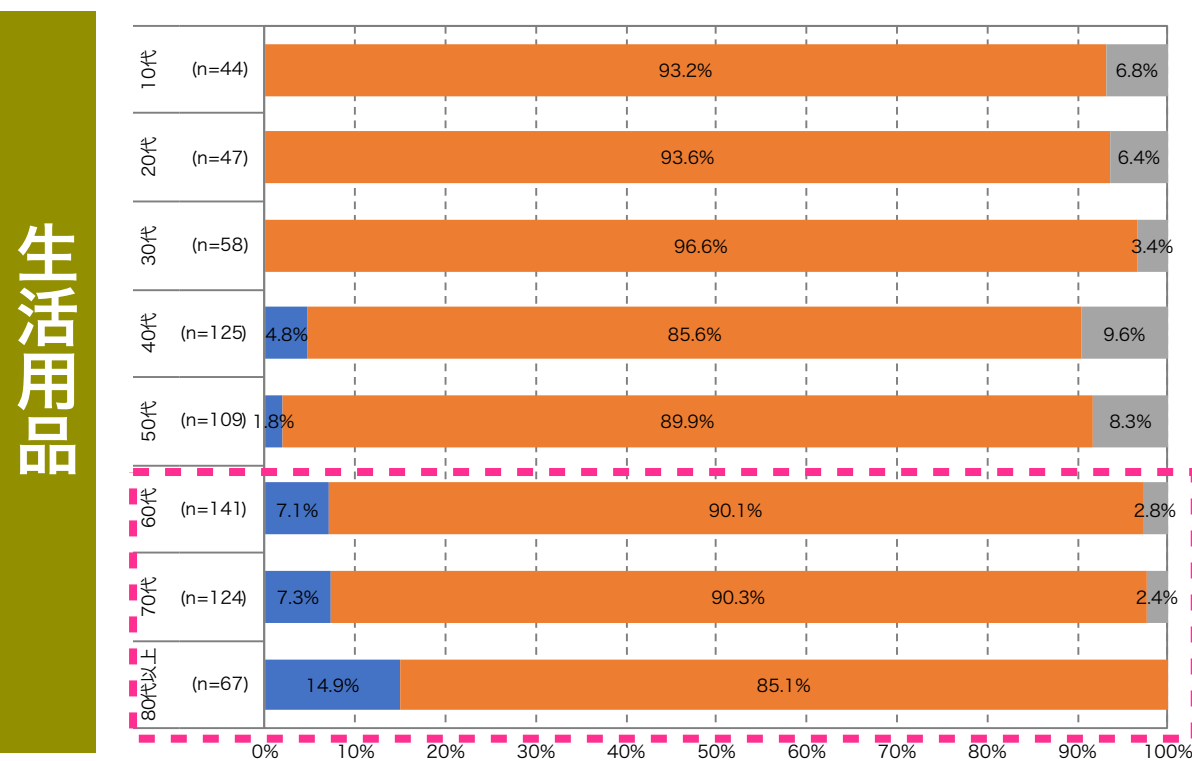
普段の買い物や通院する場所（年代別×性別）



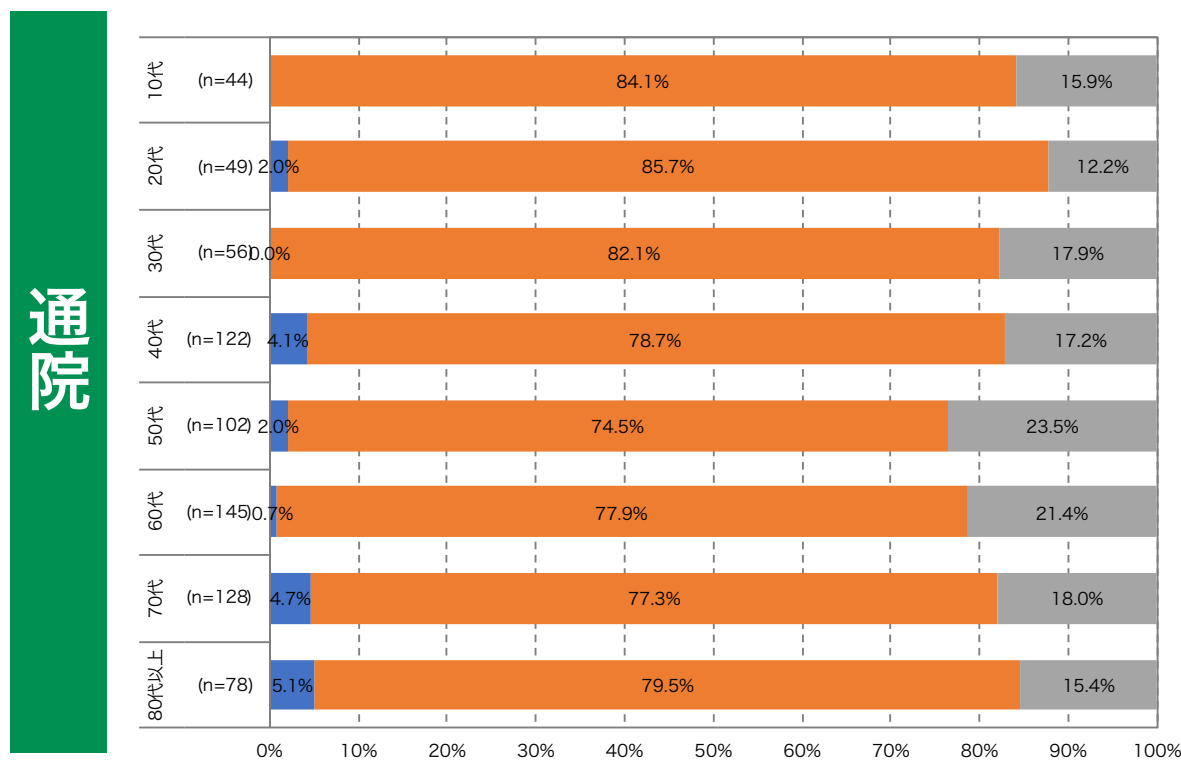
60代以上は魚沼市内で洋服購入する人が増加



70代以上で地域内で食料品購入する人がやや増加



60代以上で地域内で生活用品購入する人がやや増加

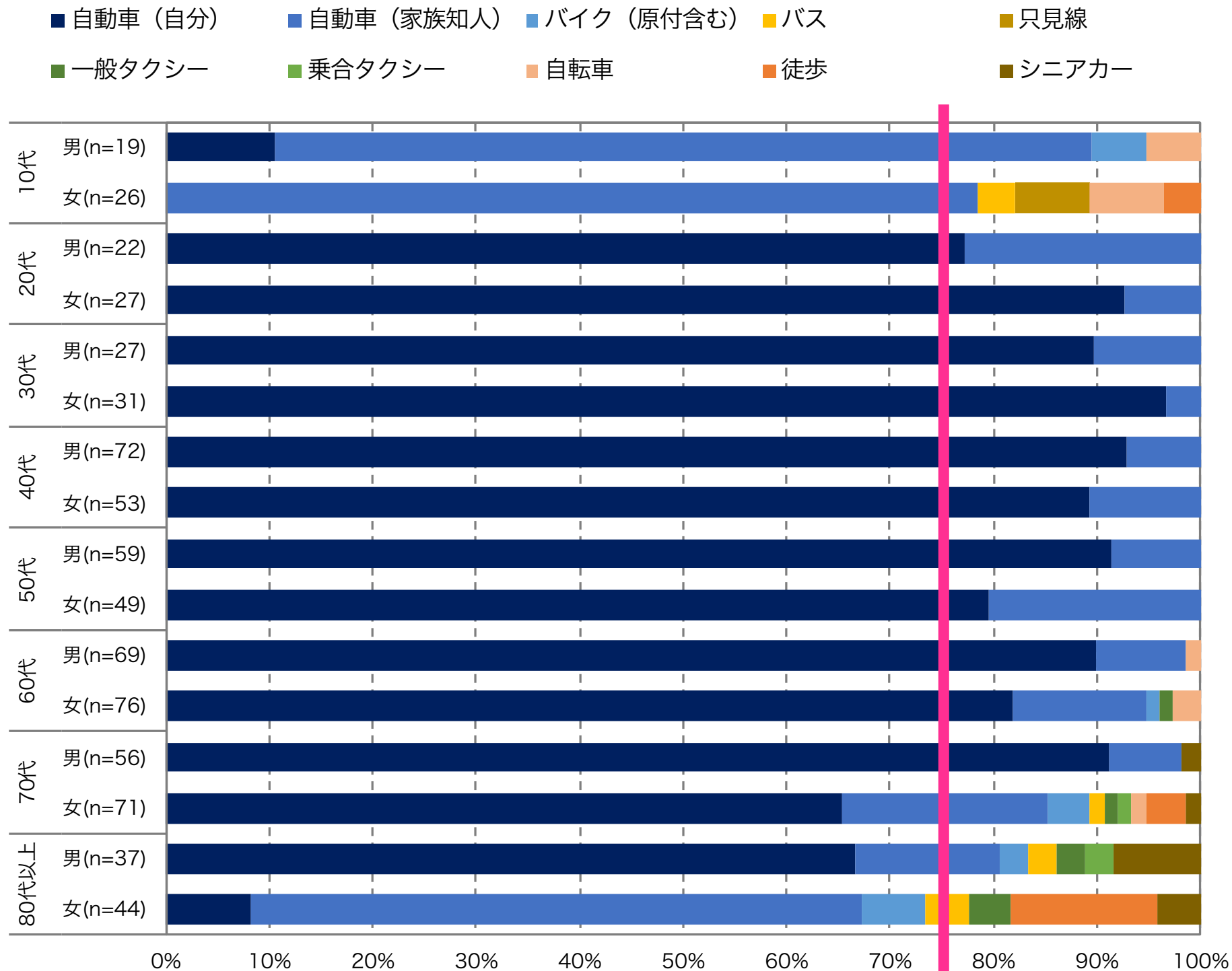


全ての世代で同じ傾向

高齢者にとって地域内のお店がライフラインとなる

買い物時の交通手段（年代別×性別）

10



・ 10代は自動車（家族知人）による移動が約80%を占めている。

・ 80代女性は徒歩で買い物に行く割合が15%程度と、7人に1人いる。

・ シニアカー（電動カート）の利用割合は、80代女性よりも80代男性の方が高い。

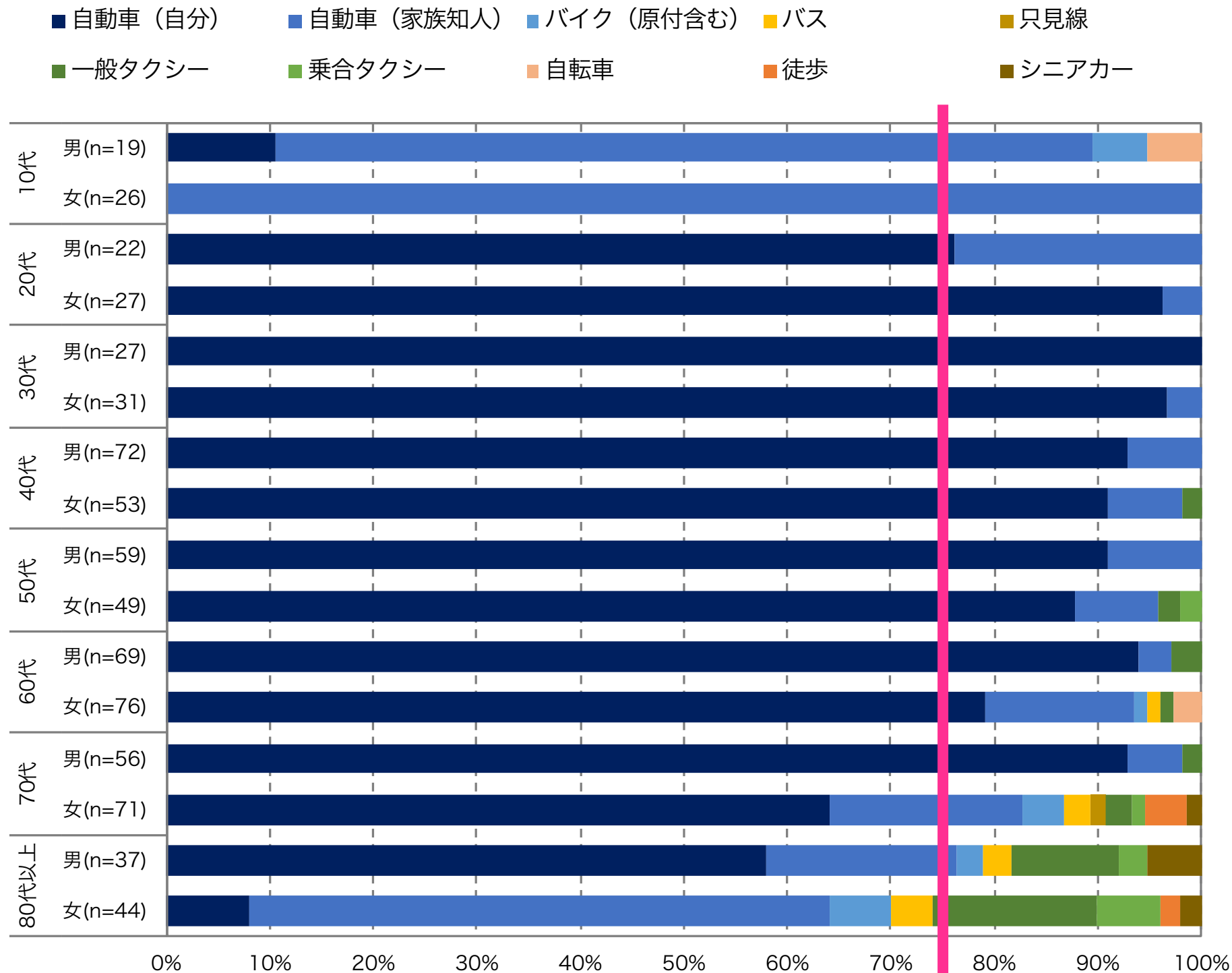
自動車（自分）：76.0%

POINT



男性は80代から、女性は70代から車を運転する人が減少

通院時の交通手段（年代別×性別）



・ 10代は自動車（家族知人）による移動が80%以上を占めている。

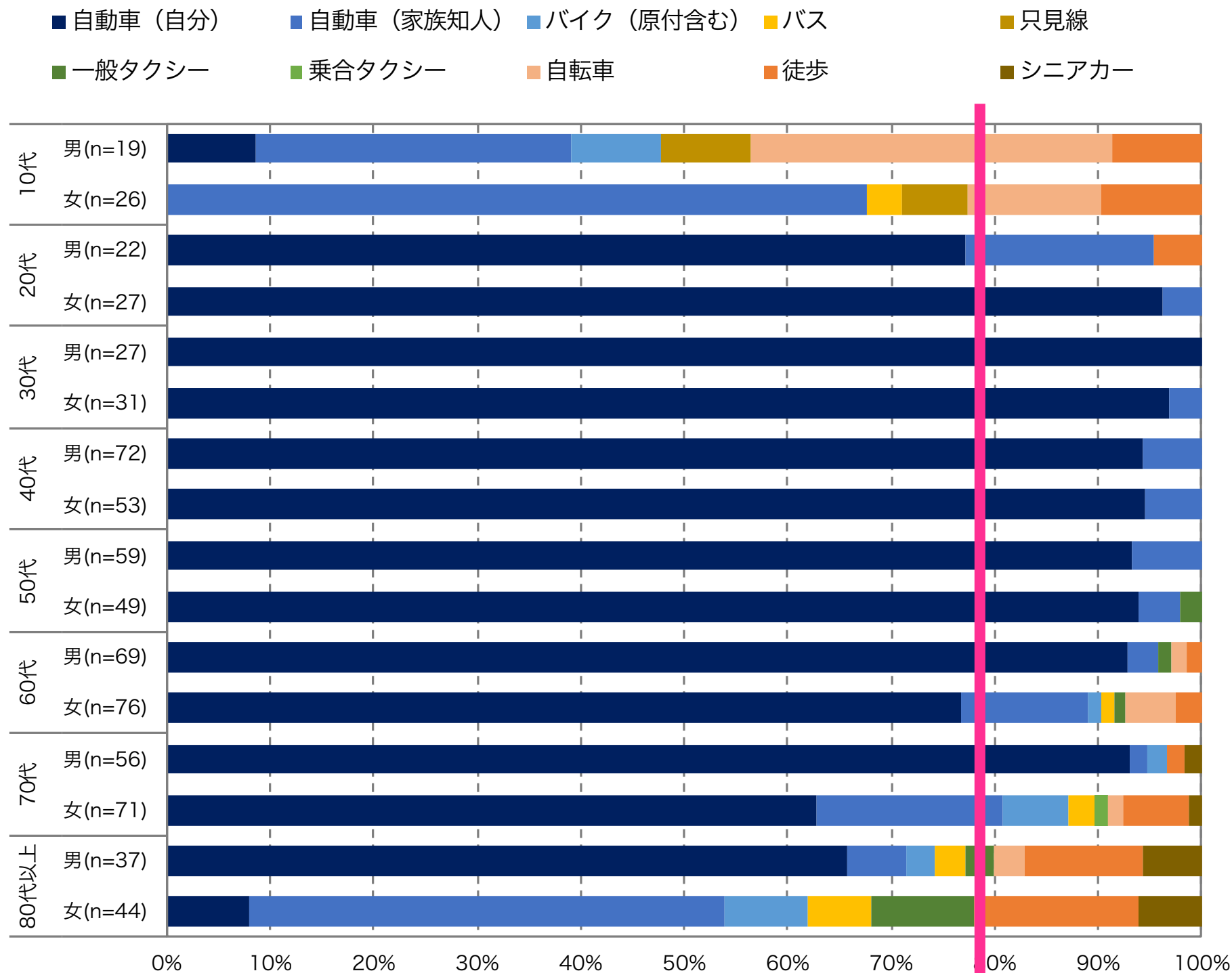
・ 80代は一般タクシーの割合が10%以上となる。乗合タクシーは5%程度である。

自動車（自分）：75.7%

POINT



男性は80代から、女性は60代から車を運転する人が減少



・ 80代は徒歩での移動割合が10%以上を占めている。

買い物時、通院時、日常の移動において、70代以降になると移動手段を誰か（家族や公共交通）に依存する傾向が高まっていきます。それは、集落外に出る機会や、誰かと出会い、交流する機会が少なくなっていくこと意味しています。結果、必要な用を足せなくなり、生活の質が低下することや健康にも影響を及ぼす可能性もあります。

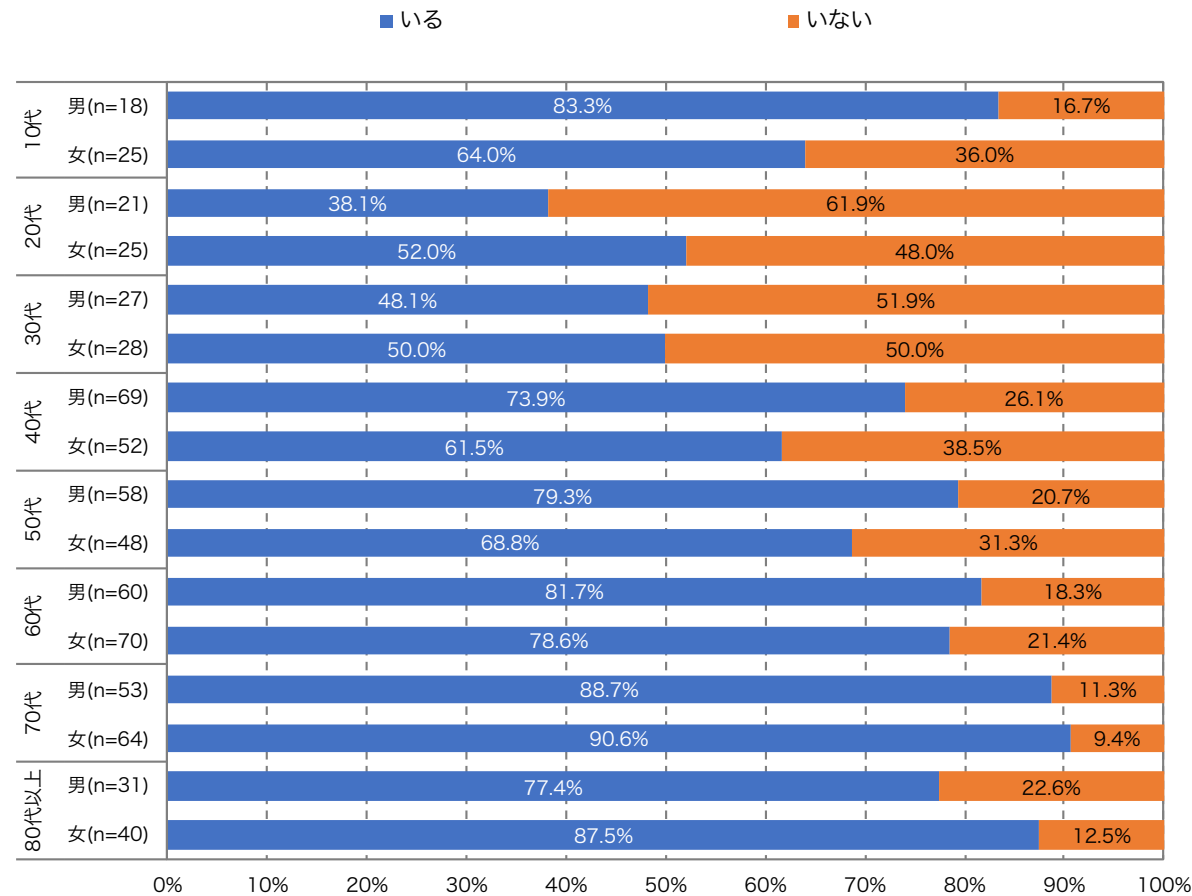
POINT



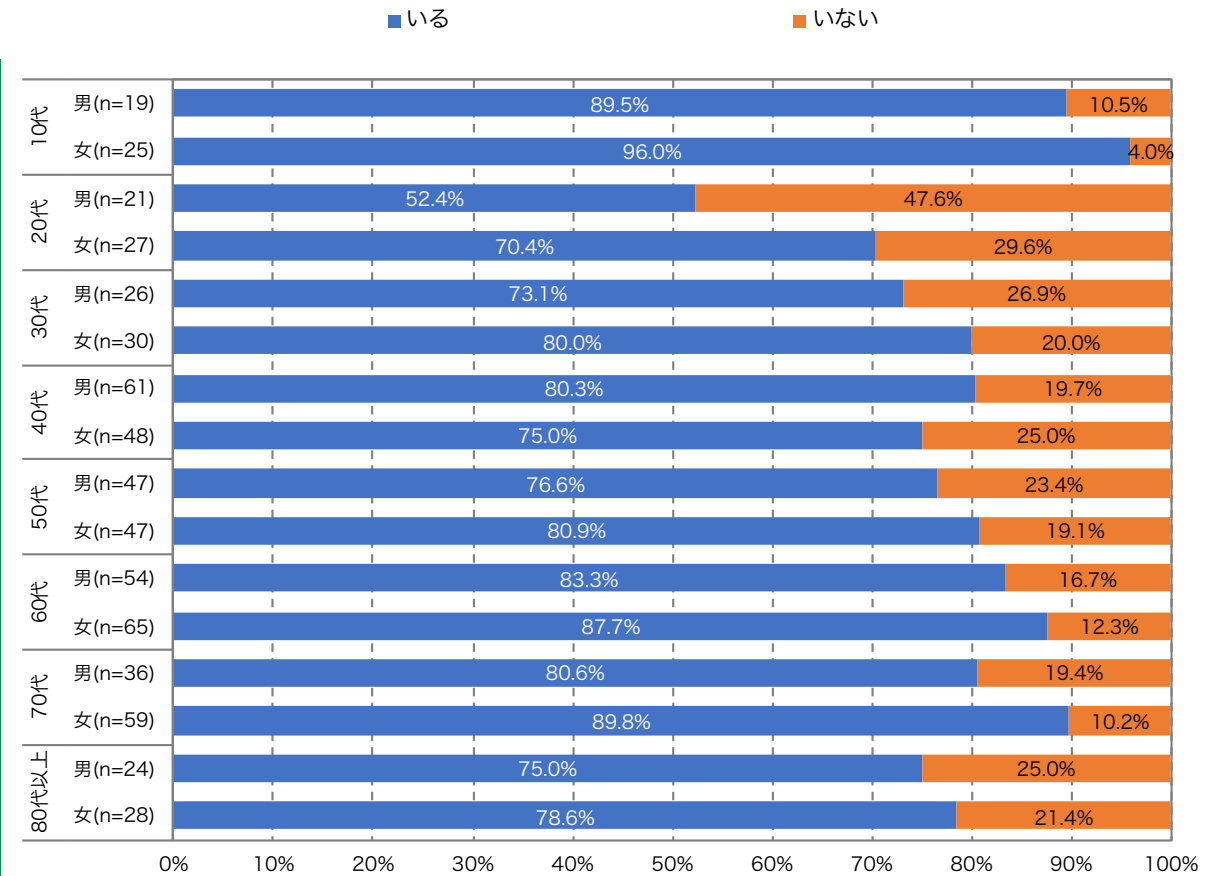
男性は80代から、女性は60代から車を運転する人が減少

自動車（自分）：78.5%

集落内



広神地域内



20・30代男女

約**50%**

集落内に相談
できる人いない

20代男性

約**45%**

地域内に相談
できる人いない

40代以降男性

約**70%以上**

集落内に相談
できる人いる

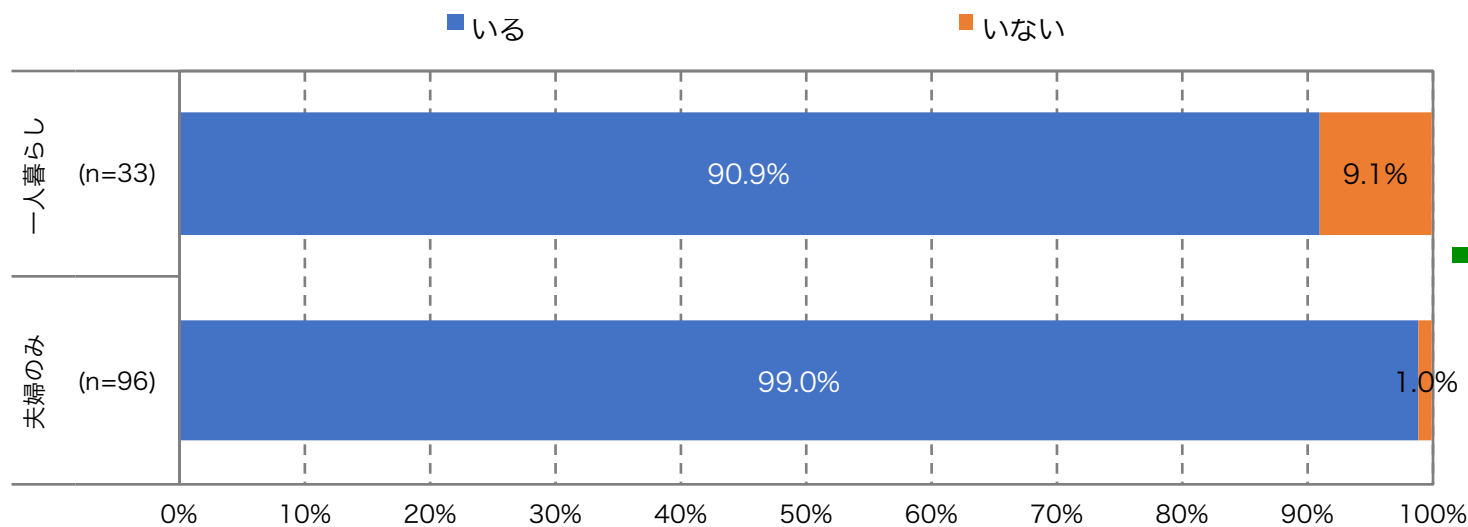
60代までは男性の方が高い

10代男女

約**90%以上**

地域内に相談
できる人いる

20代で急激に下がるのはなぜ？



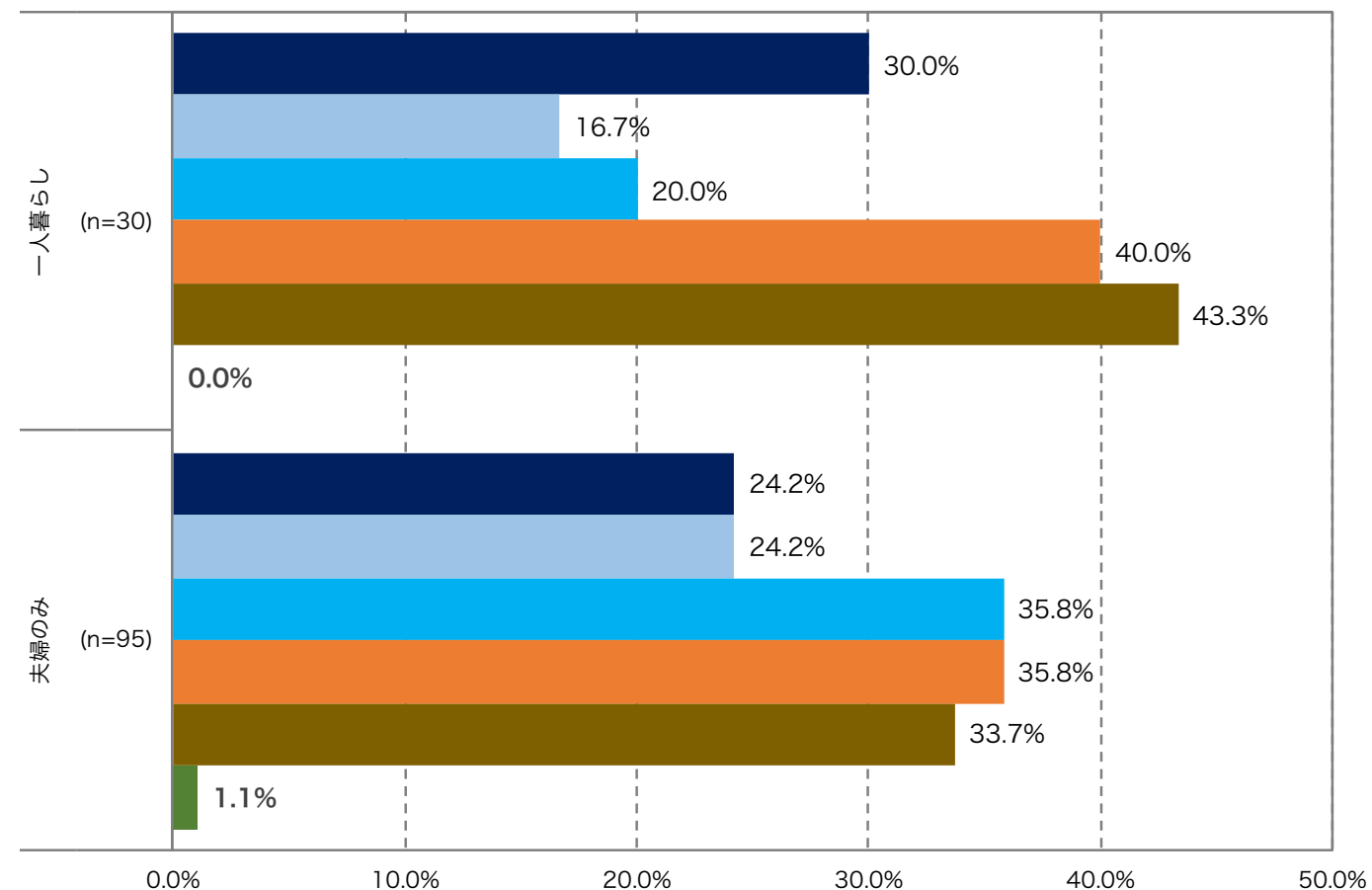
90%以上が「いる」

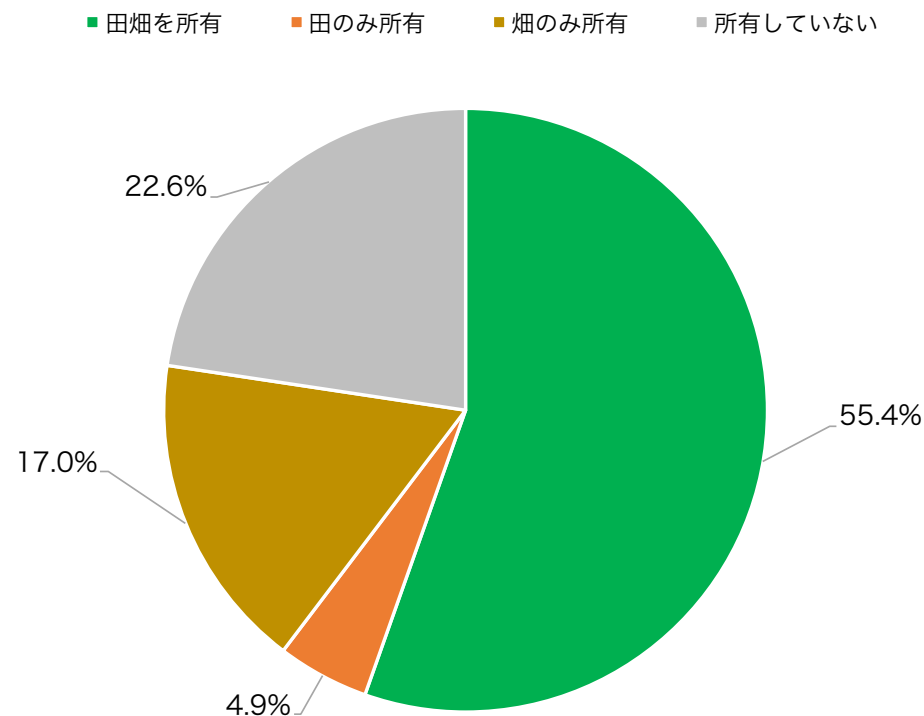
POINT



一人暮らし世帯は夫婦のみと比較して、
**身寄りとなる人は、
 県内や県外の割合が
 やや高い**

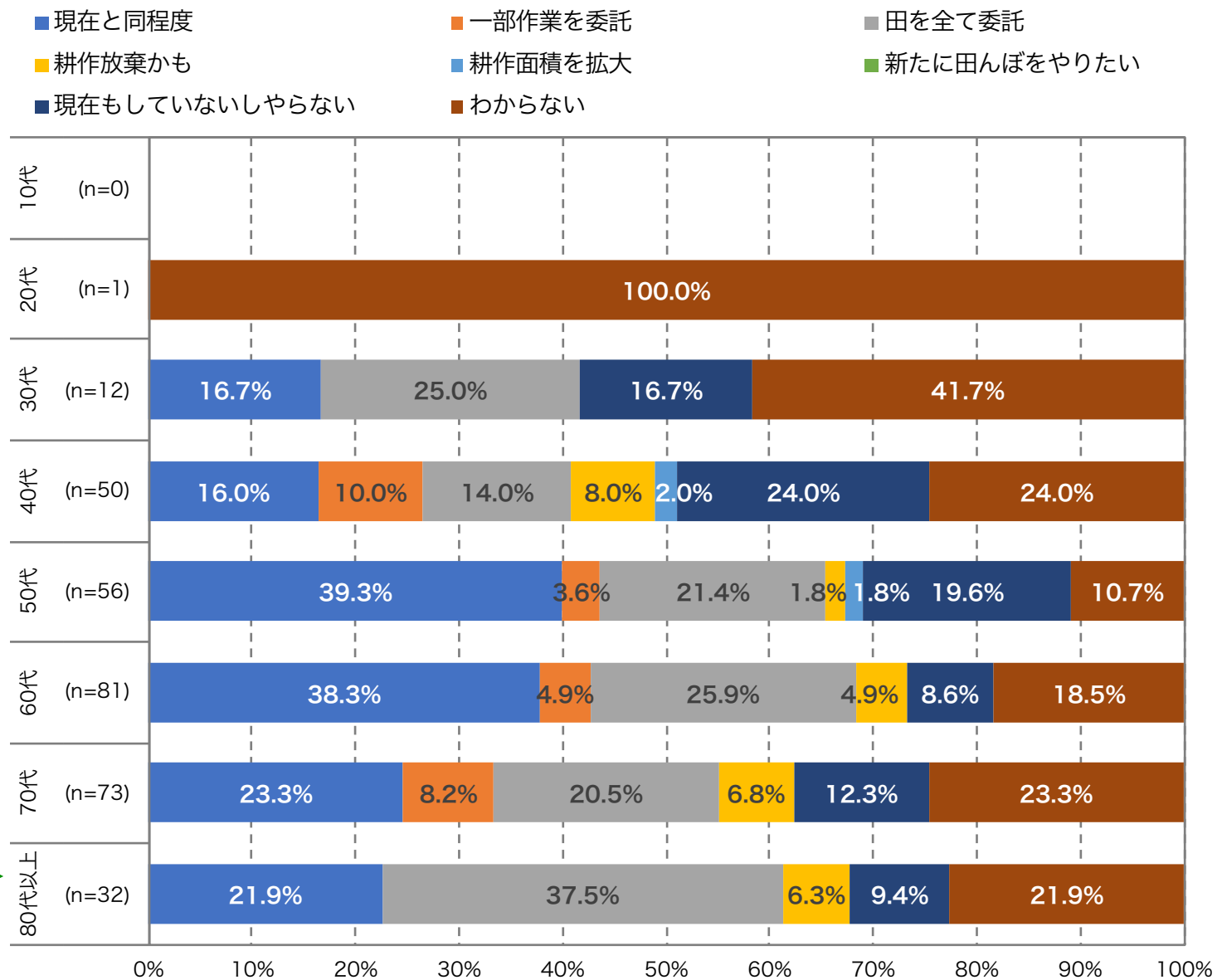
■ 集落内 ■ 広神地域内 ■ 魚沼市内 ■ 新潟県内 ■ 新潟県外 ■ その他





**75%以上が
田畑いずれかを「所有」**

10年後の田畑の作業や管理



**50代以上は「田を全て委託」
で利用状態を維持したい意向。**

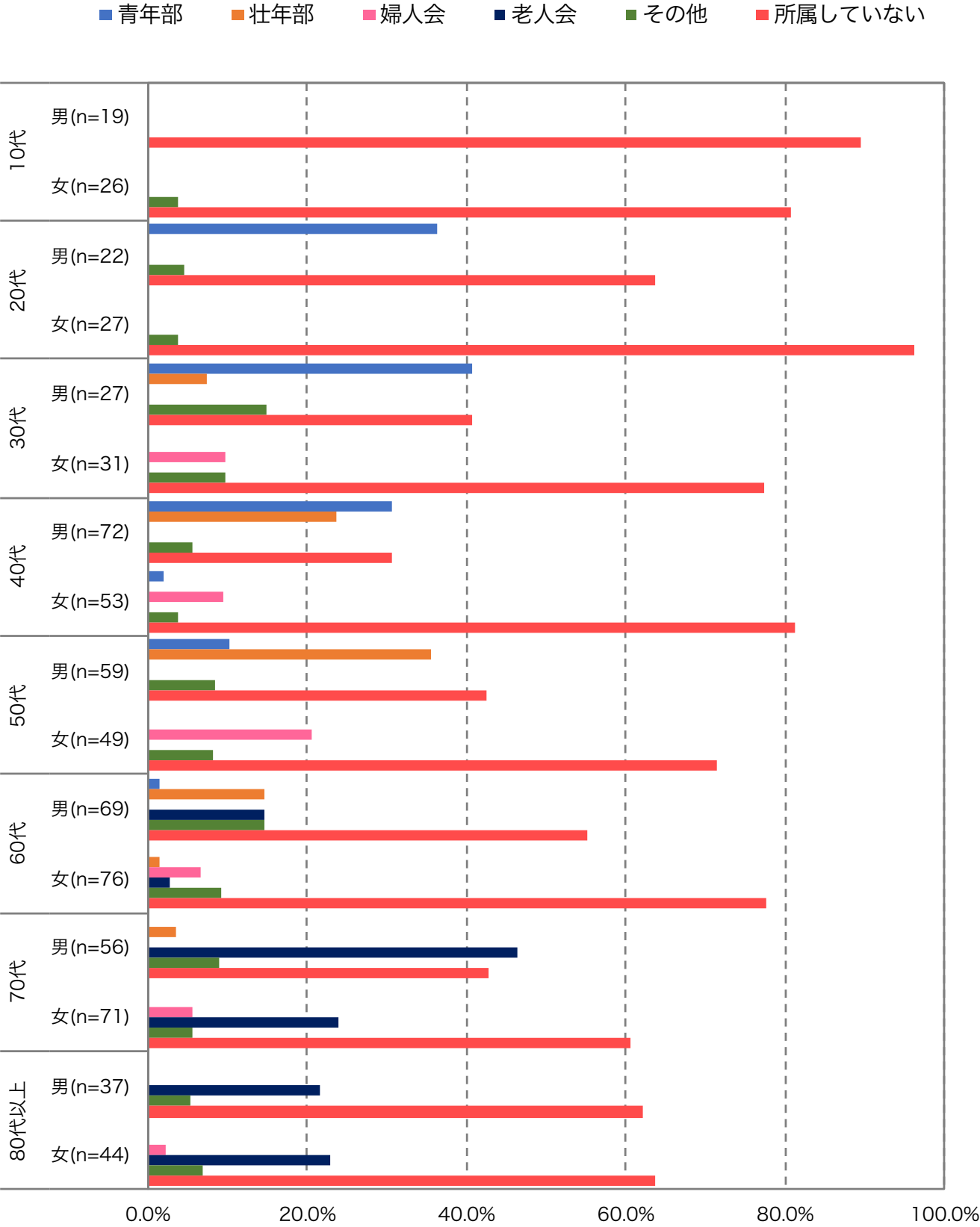
**40代以下は「わからない」が
他の選択肢と比較して割合が高い**

POINT



現在と同程度は約30%

40代以下の多くは「わからない」＝将来不安を抱えてい
ように見えます。今後の田畑の維持管理をどうするか、
先を見据えた検討が必要になりそうです。60代以上で
「耕作放棄かも」が増加している点も見逃せません。



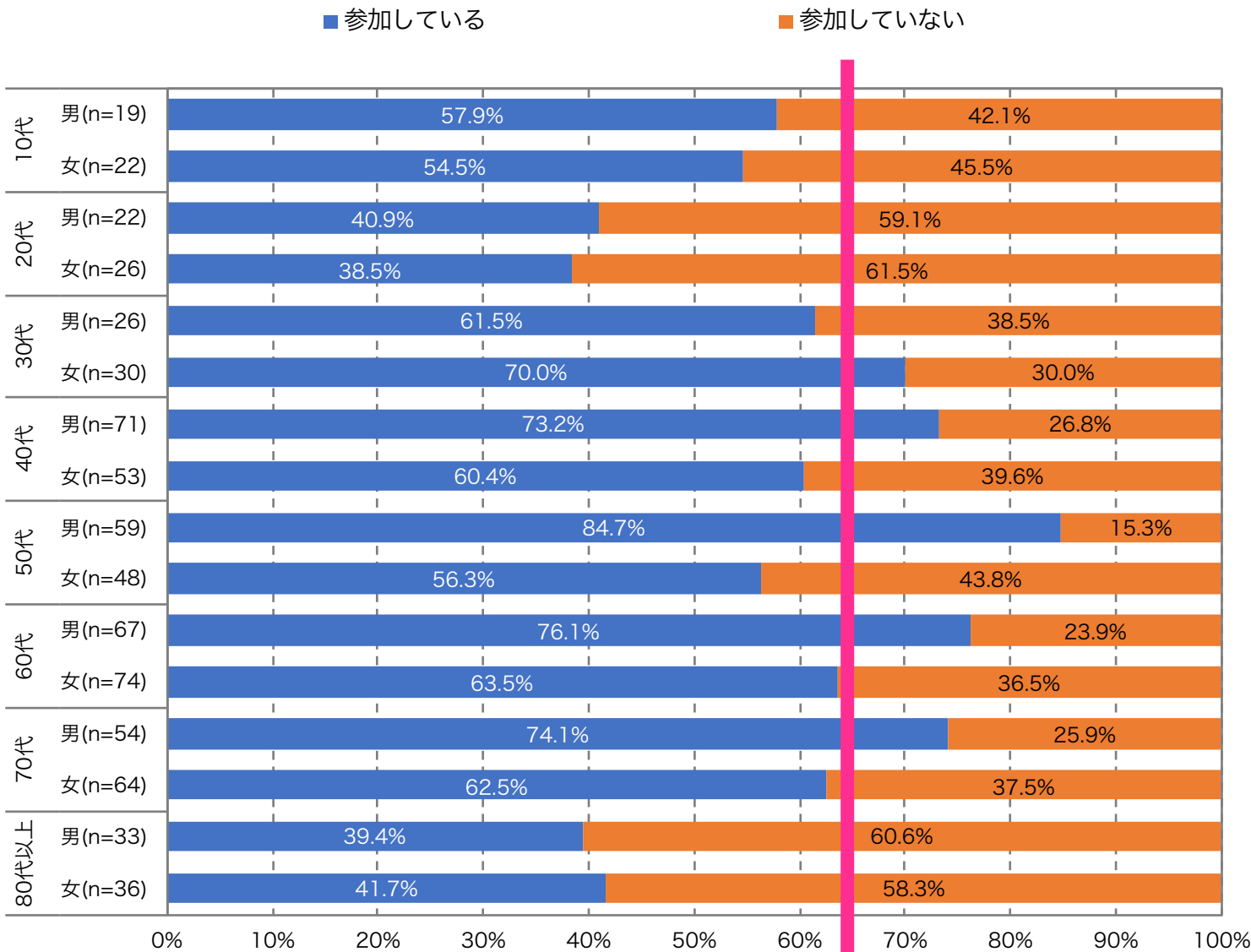
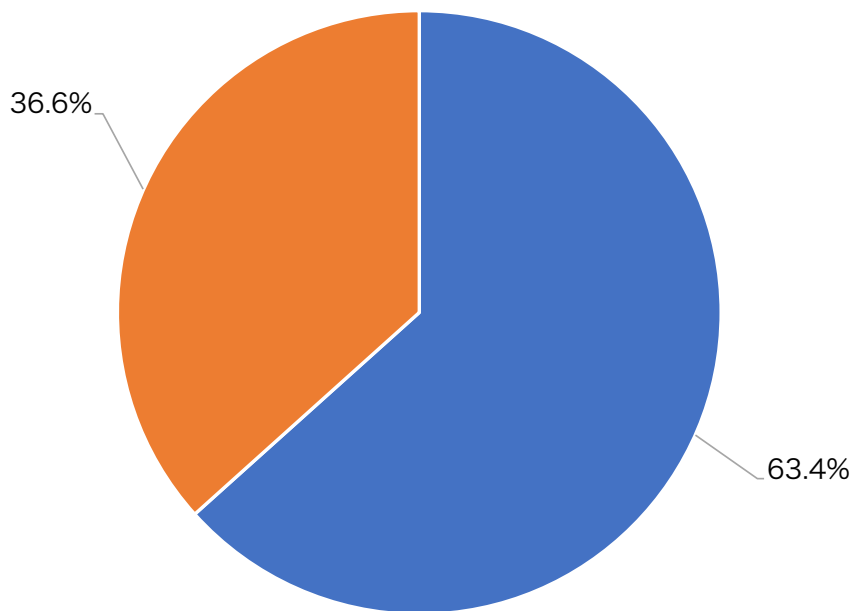
POINT 地域の**60%以上**が
✓ **「所属していない」**

青年部は20～40代男
約30%

壮年部は30～70代男
約14%

婦人会は30代～女
約9%

老人会は60代～の
約20%



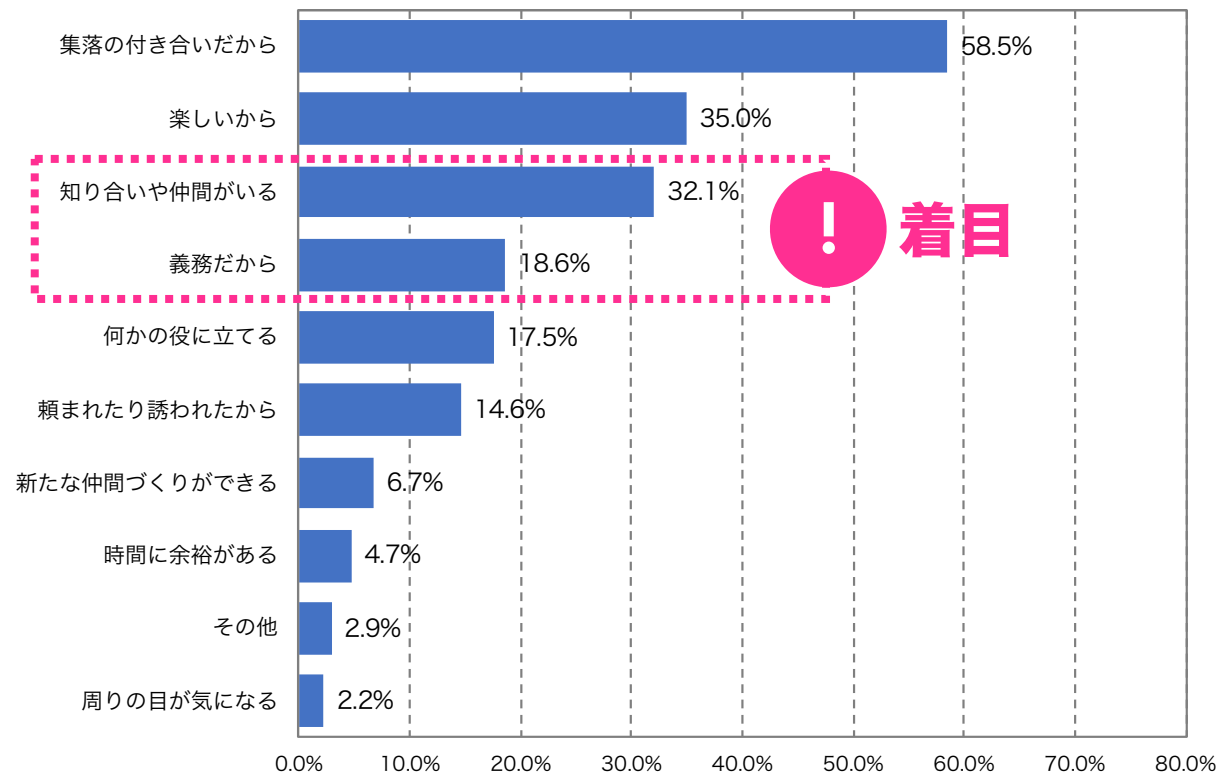
参加している：63.4%

POINT 地域の**60%以上**が
「参加している」

20代男性・女性、80代男性・女性が約40%で他の年代と比べて、参加している人の割合がやや少ない

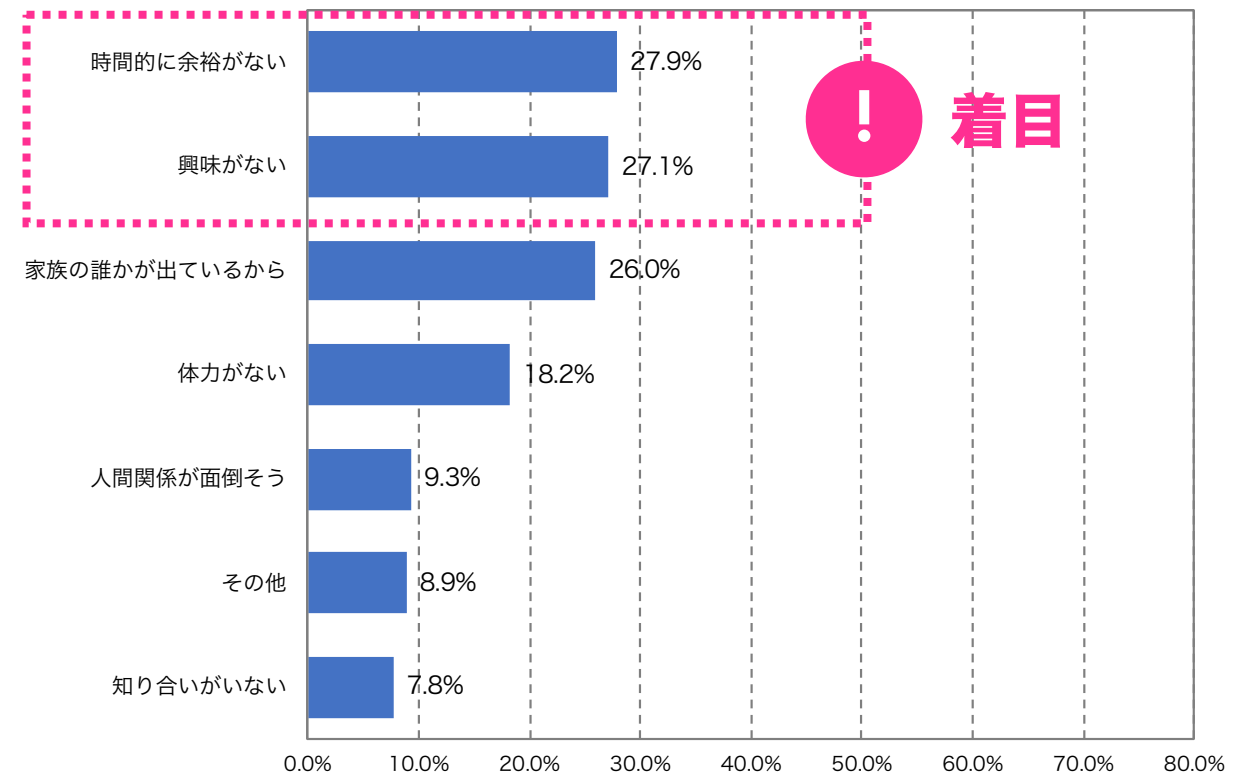
参加している

n=446



参加していない

n=258



知り合いや仲間がいる

【32.1%】

10代：56.5%

80代以上：42.9%

～

40代：28.6%

50代：28.6%

30代：24.3%

義務だから

【18.6%】

30代：27.0%

40代：23.8%

70代：18.8%

50代：16.9%

60代：16.3%

時間的に余裕がない

【27.9%】

20代：44.8%

10代：44.8%

40代：40.0%

50代：33.3%

～

30代：15.8%

興味がない

【27.1%】

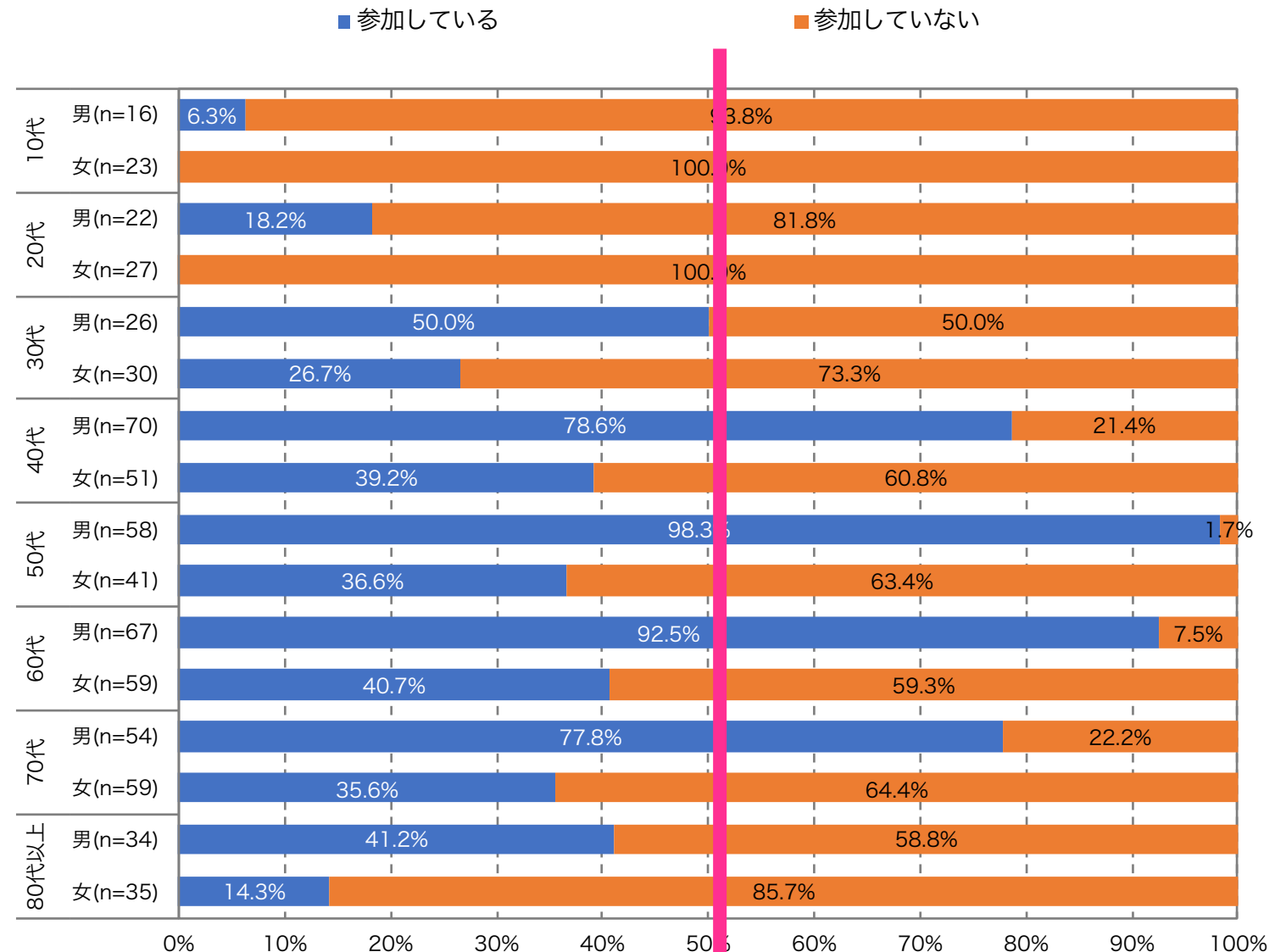
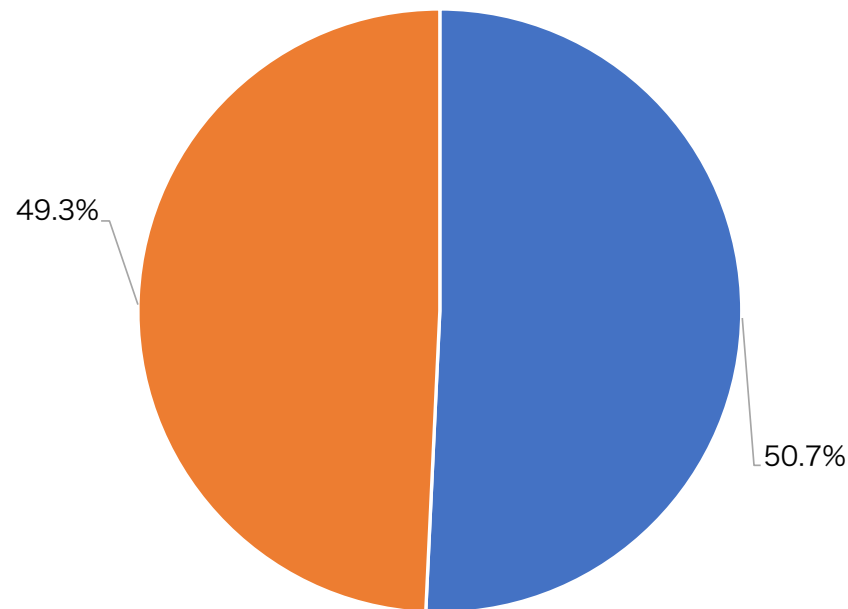
30代：52.5%

10代：50.0%

60代：37.2%

20代：34.5%

50代：33.3%



参加している：50.7%

POINT



地域の**50%以上**の人が
「参加している」

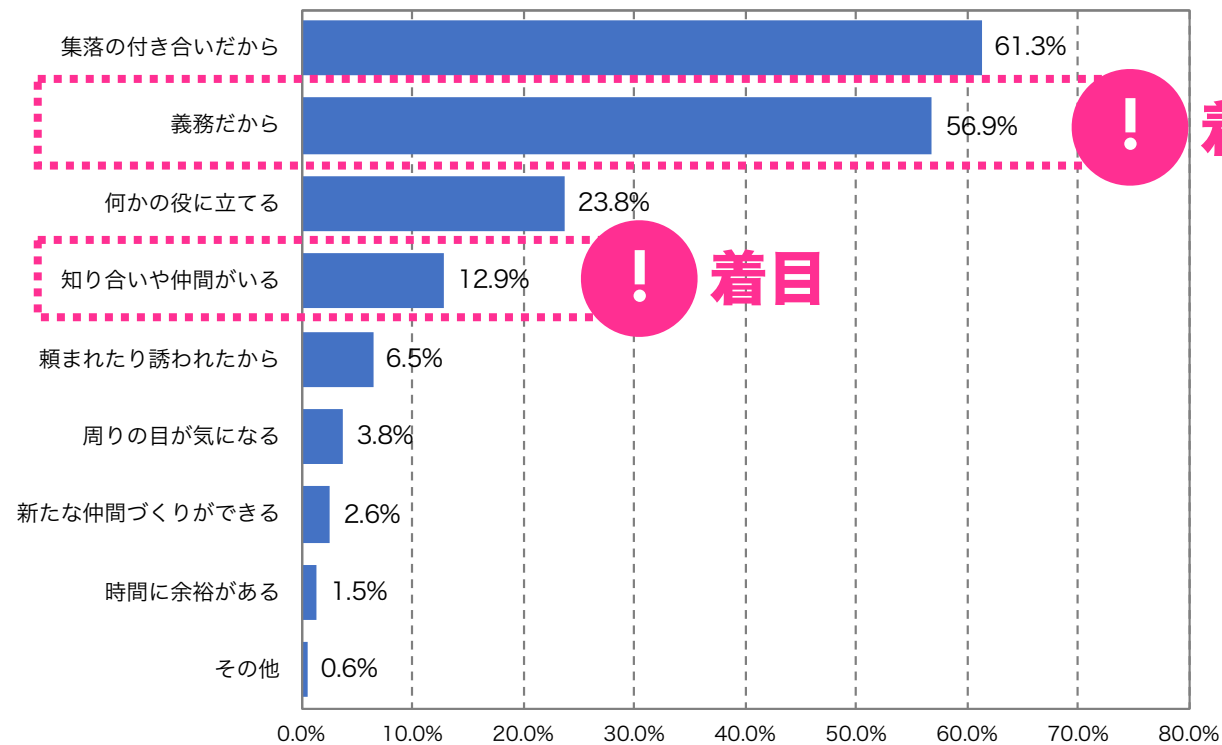
20代以下は5%以下の参加割合。全年代では、男性の約70%が参加している一方で、女性は約30%の参加割合。

共同作業（草刈り・道普請・江浚い等）への参加【理由】

20

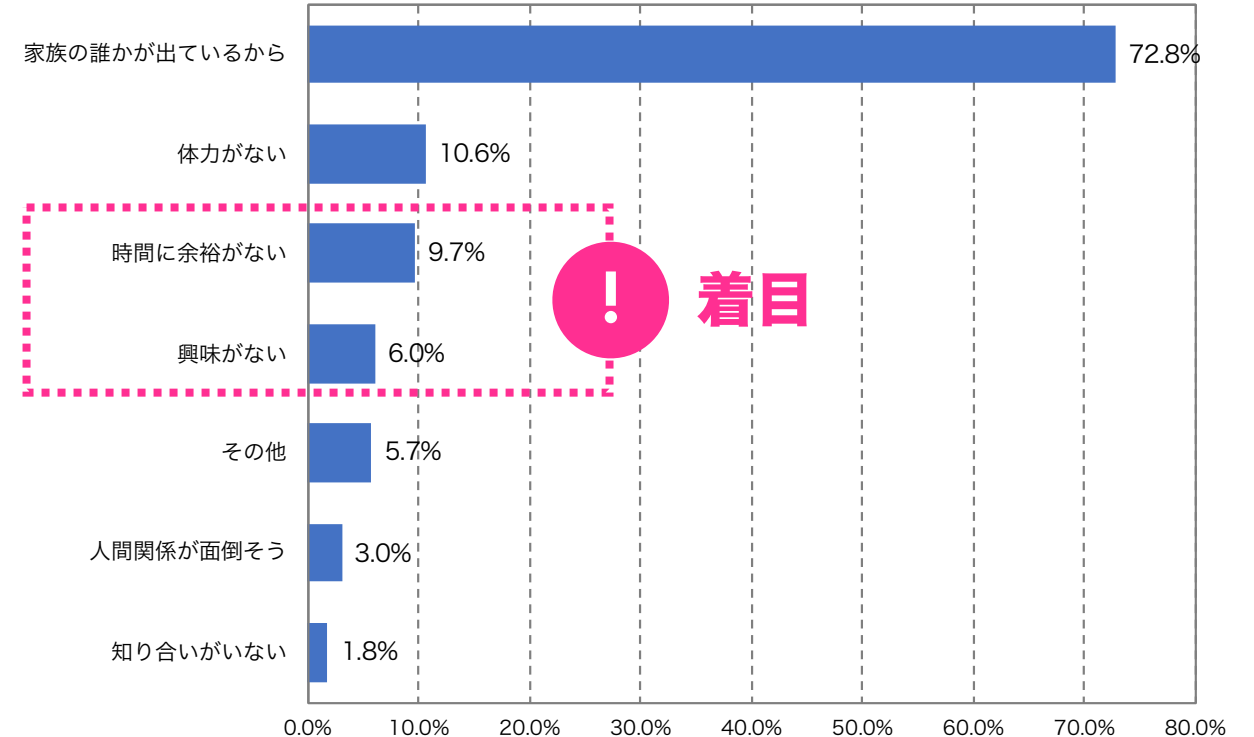
参加している

n=341



参加していない

n=331



知り合いや仲間がいる 【平均12.9%】

20代：25.0%
70代：22.2%
40代：13.3%
50代：12.5%
80代以上：10.5%

義務だから 【平均56.9%】

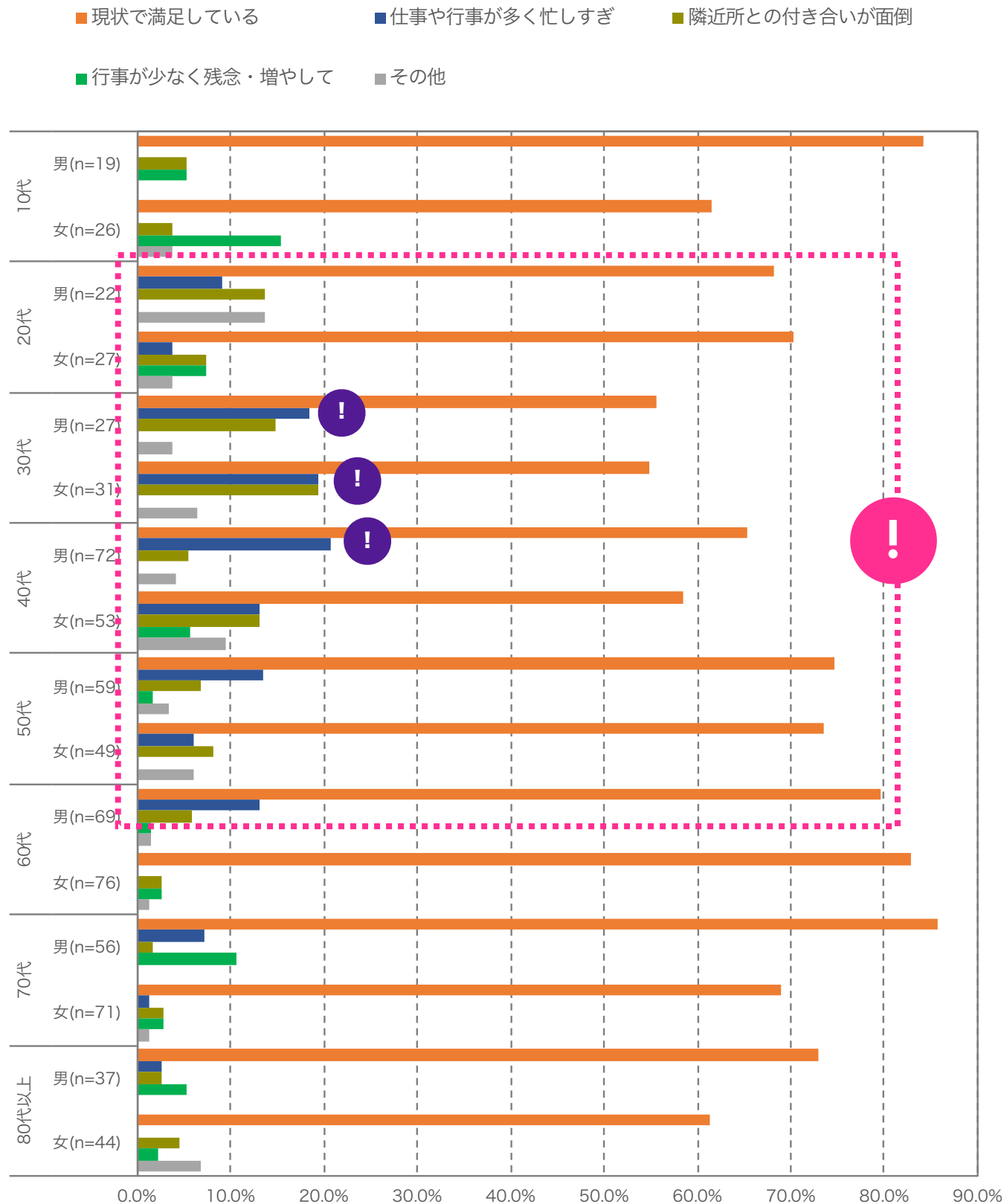
20代：75.0%
50代：68.1%
40代：62.7%
30代：57.1%
60代：51.2%

時間的に余裕がない 【平均9.7%】

10代：23.7%
20代：17.8%
40代：13.0%
30代：11.4%
～
70代以上：0.0%

興味がない 【平均6.0%】

10代：23.7%
20代：11.1%
30代：5.7%
60代：5.0%
50代：3.7%
それ以外：0.0%



POINT 地域の約80%の人が



現状で満足



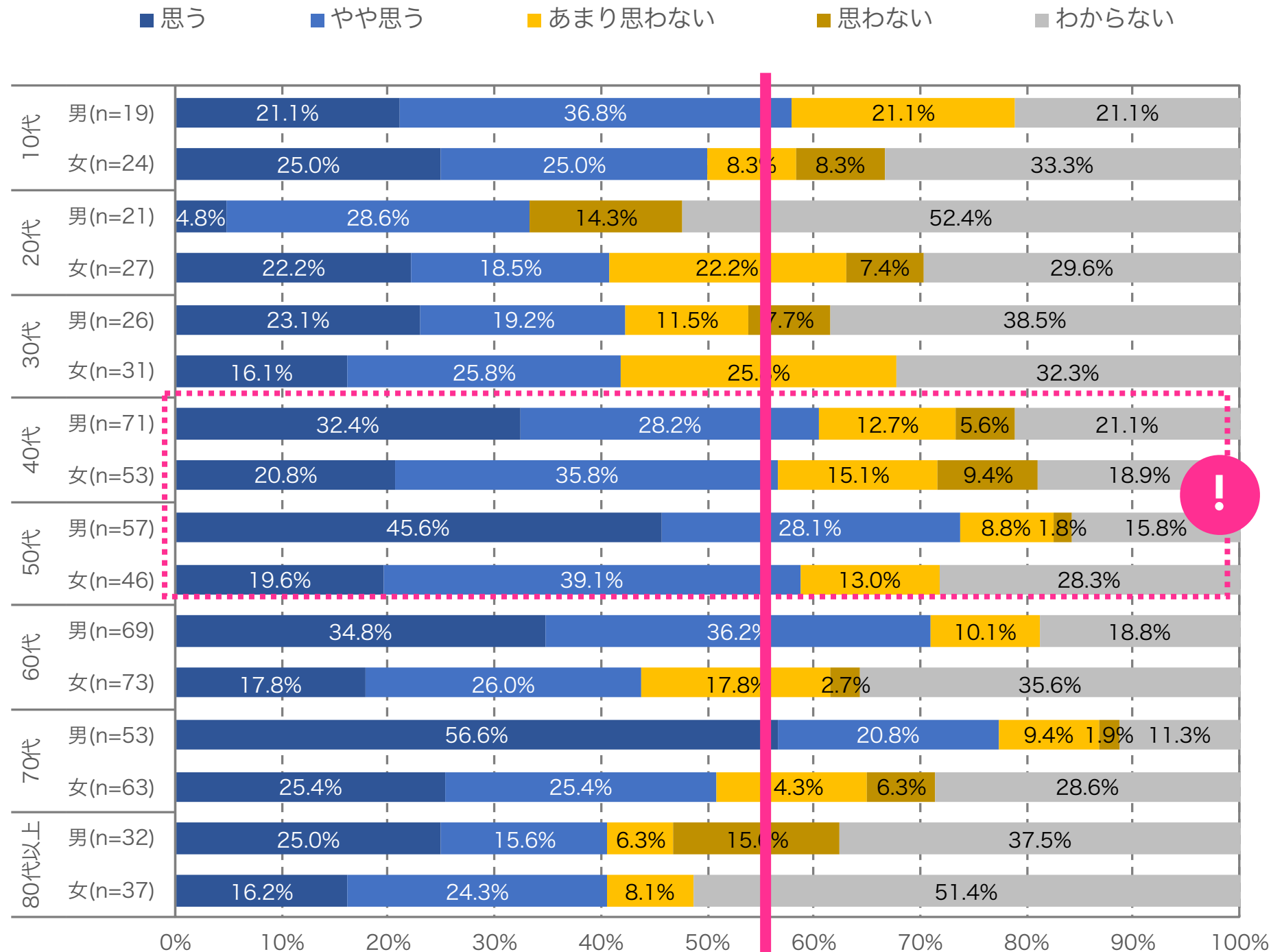
20～60代の男性、20～50代の女性の約1割は、「仕事や行事が多く忙しすぎ」と回答

特に30代男女、40代男性は5人に1人の割合で感じている。

人口が減少していく中で、多忙感を解消しなければ、若世代も地域の運営を引き継ぐことができないでしょう。そのためには、行事・会議・組織の棚卸しを行い、何にどれだけの時間を割いているのか、そして、なくしたり、合わせることで減らすことはできないか、検討していくことも大切になってきます。

地域活動に若者や女性の声を反映する必要性（年代別×性別）

22



全体平均**55%以上**が
「思う」

平均以上の年代

行事・共同作業の
○参加割合が高い
40・50代男性
○参加割合の低い
40・50代女性

思う+やや思う：55.4%

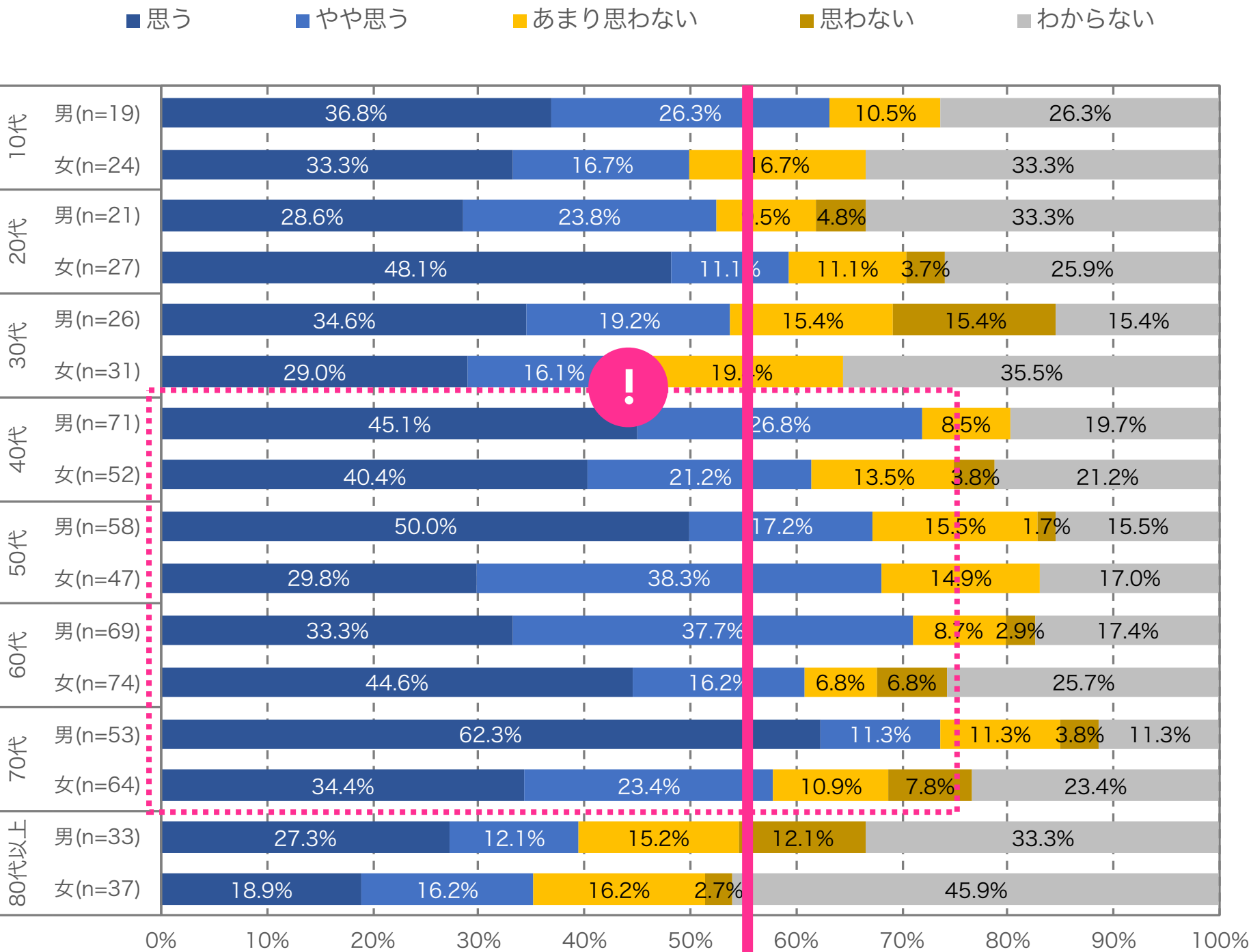
POINT



40～70代男性、40～50代女性は
約6割が反映された方がいいと考えている。

人口減少していく中で、これまでと同じような地域活動や運営を続けていくことは、人数が少ない若者世代にとってはより負担が大きくなります。どのようなあり方が良いか、次世代とともに考え、変えることと変えないことを決めていくことが求められるでしょう。

新たな定住者の受け入れ（年代別×性別）



全体平均**60%以上**
が「**思う**」

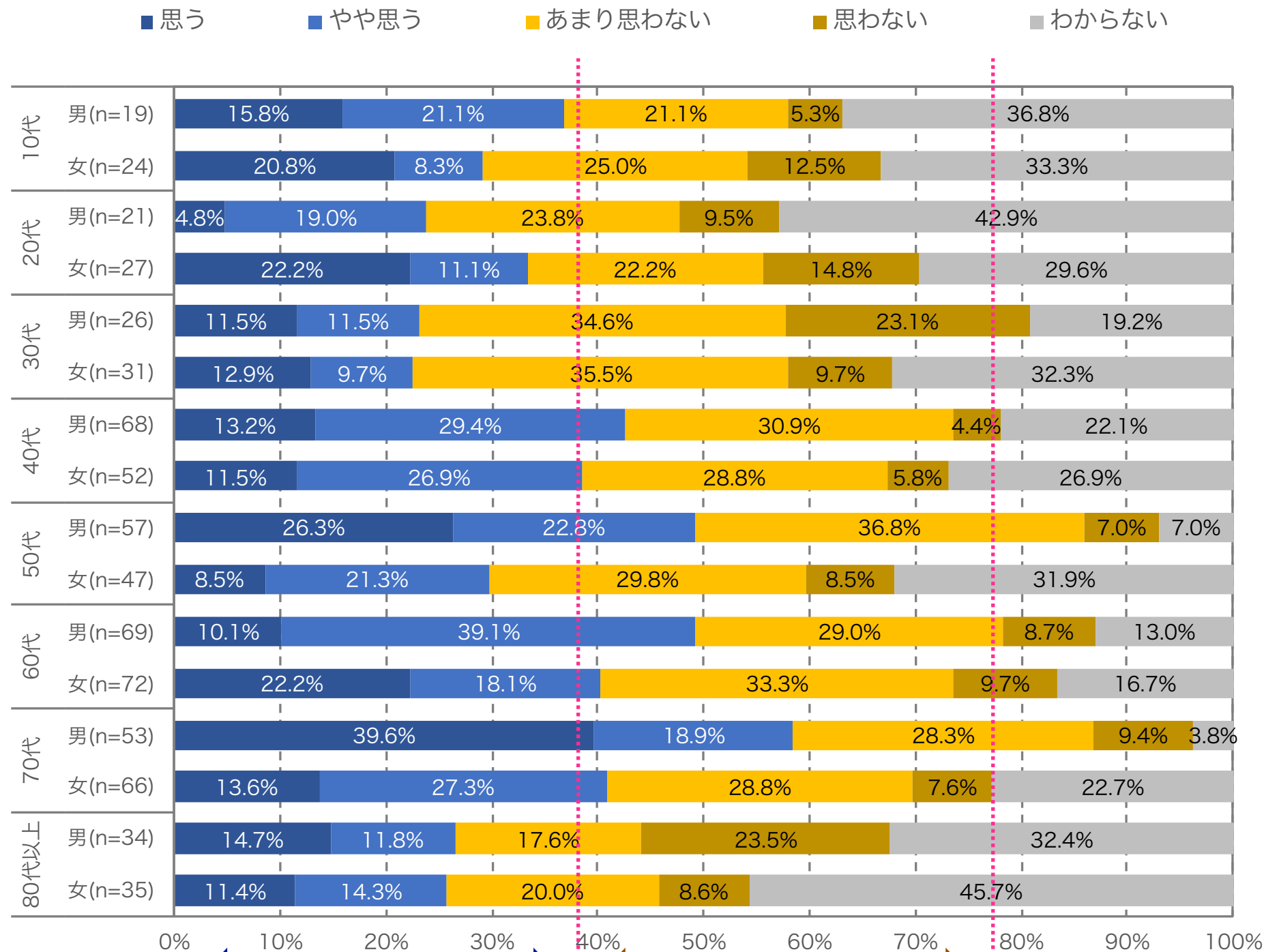
全体平均**16%**が
「**思わない**」

思う+やや思う：60.8%

POINT



40～70代（特に男性）は移住受入に積極的な意識



思う > 思わない

10代男

40代男

50代男

60代男

70代男

40代女

70代女

思う < 思わない

20代男

30代男

80代男

10代女

20代女

30代女

50代女

60代女

80代女

POINT



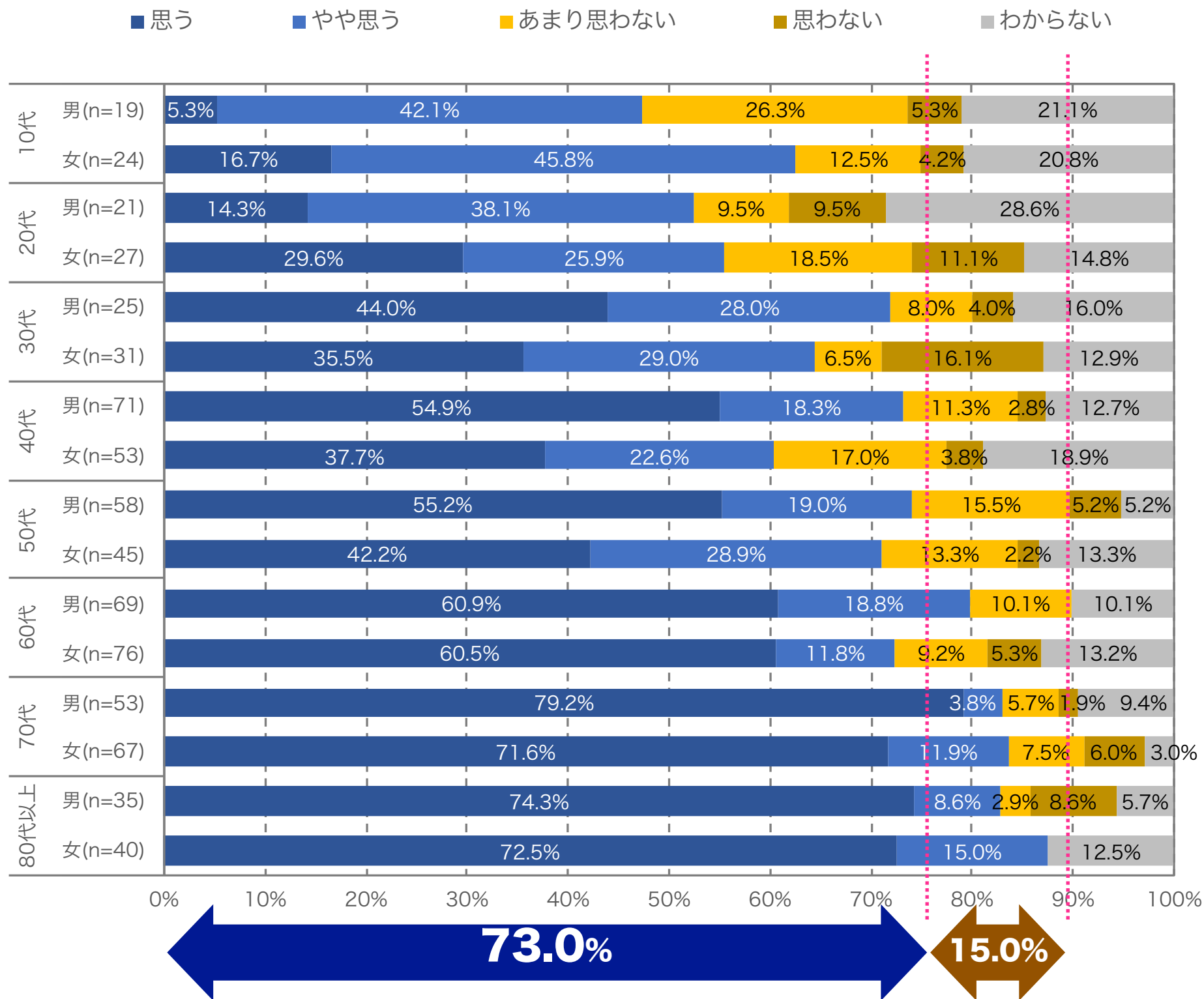
38.7%
思う+やや思う

38.5%
あまり思わない+思わない

回答は拮抗。世代・性別で違いあり。

この地域に住み続けたいと思うか（年代別×性別）

25



全体平均**70%以上**が
「思う」

全体平均**15%**が
「思わない」

40代以下では、「思う」と回答した割合が全体平均より低い一方で、「思わない」と回答した割合が全体平均よりも高い結果となっており、50代以上の世代との意識の乖離が見られます。
特に男性よりも女性はその傾向が強く、この世代が住みやすい、住み続けたいと思う地域づくりが人口減少対策として求められていることを示唆していると言えるかもしれません。

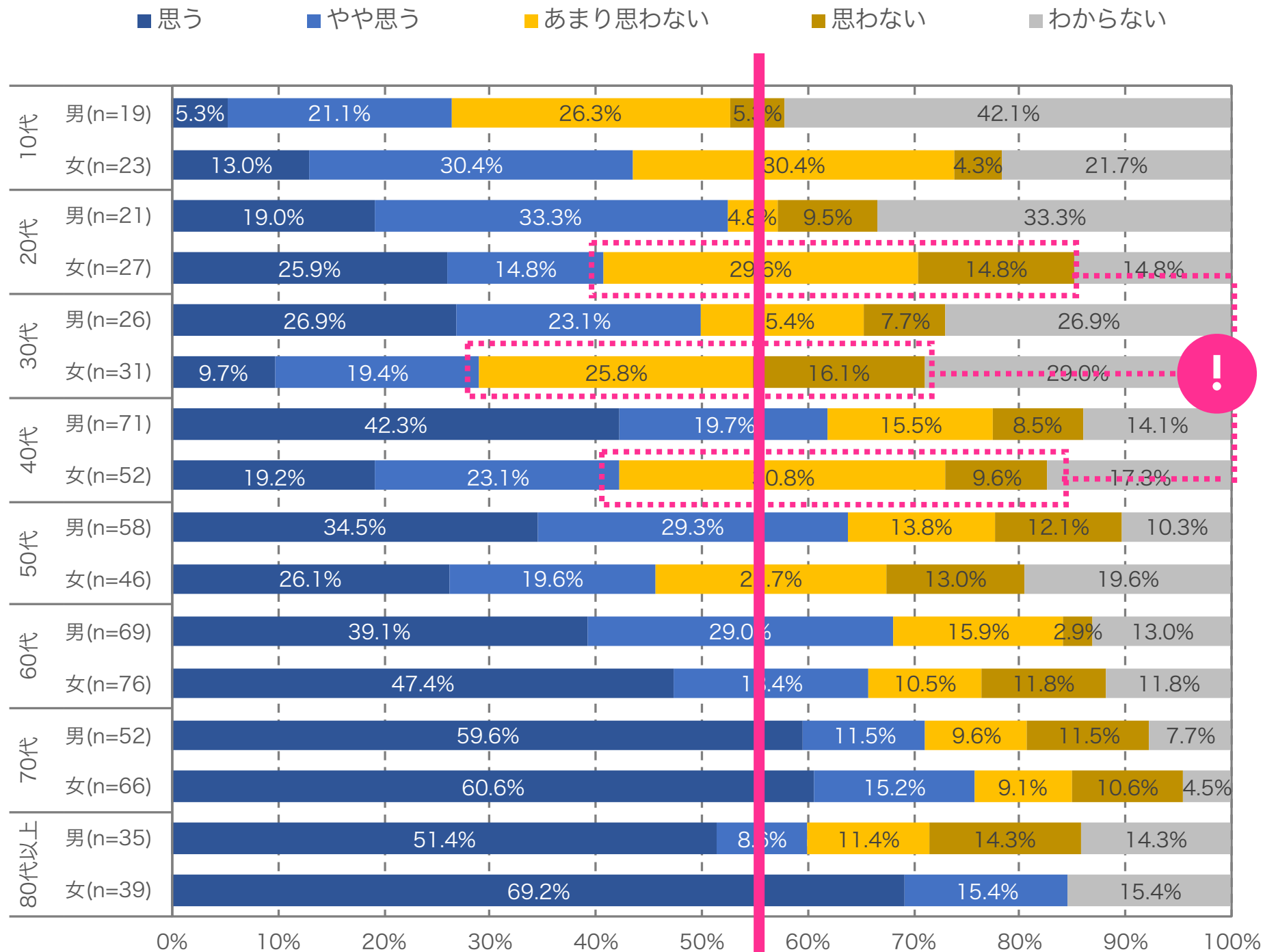
POINT



若者（特に女性）の定住意向が低い

自分の子どもにも住み続けて欲しいと思うか（年代別×性別）

26



思う+やや思う：55.4%

全体平均**50%以上**が
「思う」

全体平均**25%**が
「思わない」

20～40代女性
40%以上が
「思わない」

移住者の受入や他地域との交流、住み続けたいと思うか、といった一連の質問に対して、女性は男性よりも「思う」の割合が低く、「思わない」の割合が高い。女性にとってそう思わせたり、あきらめを感じさせる要因があるのではないのでしょうか。

POINT

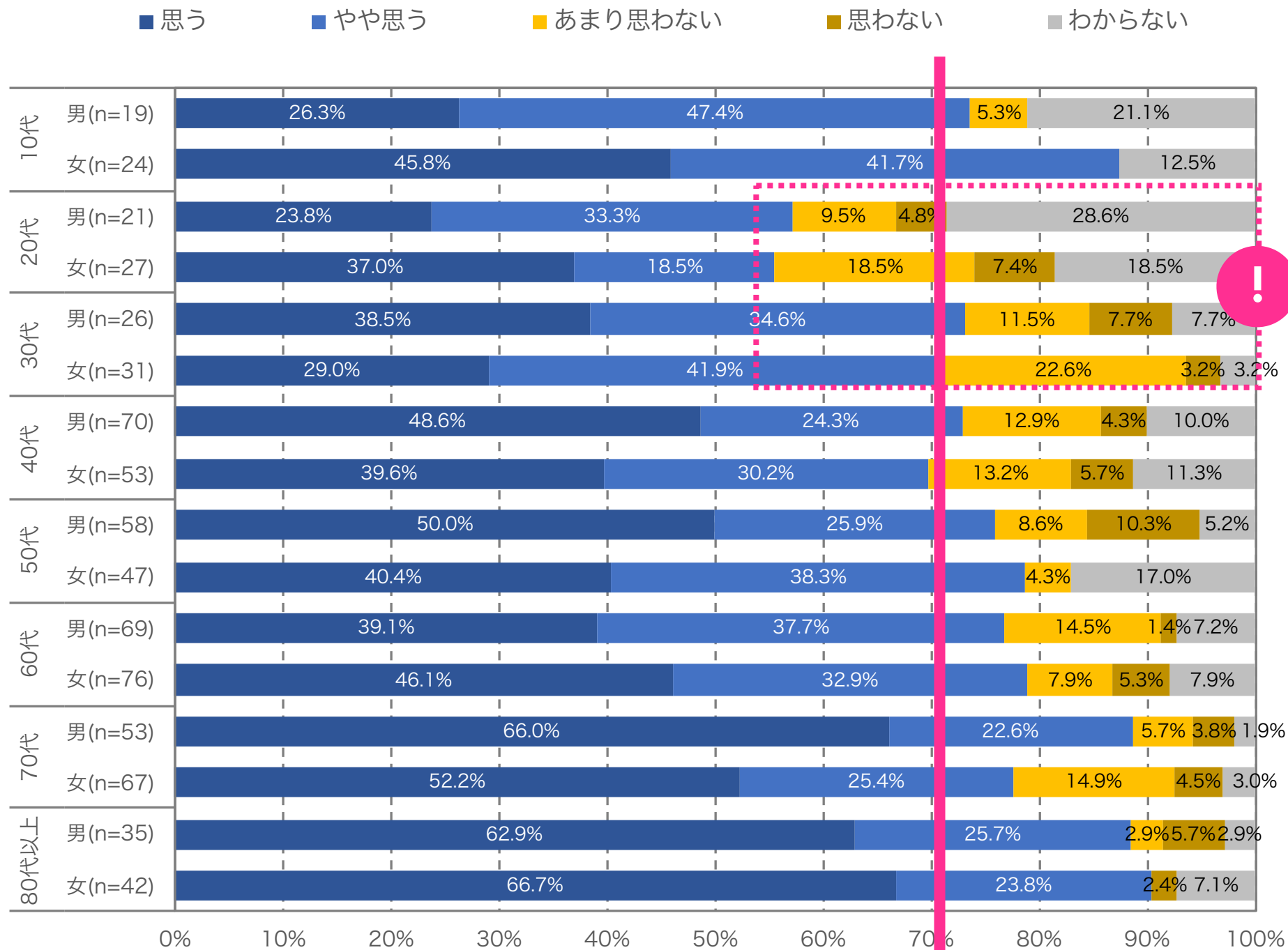


子育て中の親世代（特に女性）は

住み続けてほしいとは思わないの割合が高い！

この地域は良い所だと思うか（年代別×性別）

27



全体平均**70%以上**が
「思う」

全体平均**14%**が
「思わない」

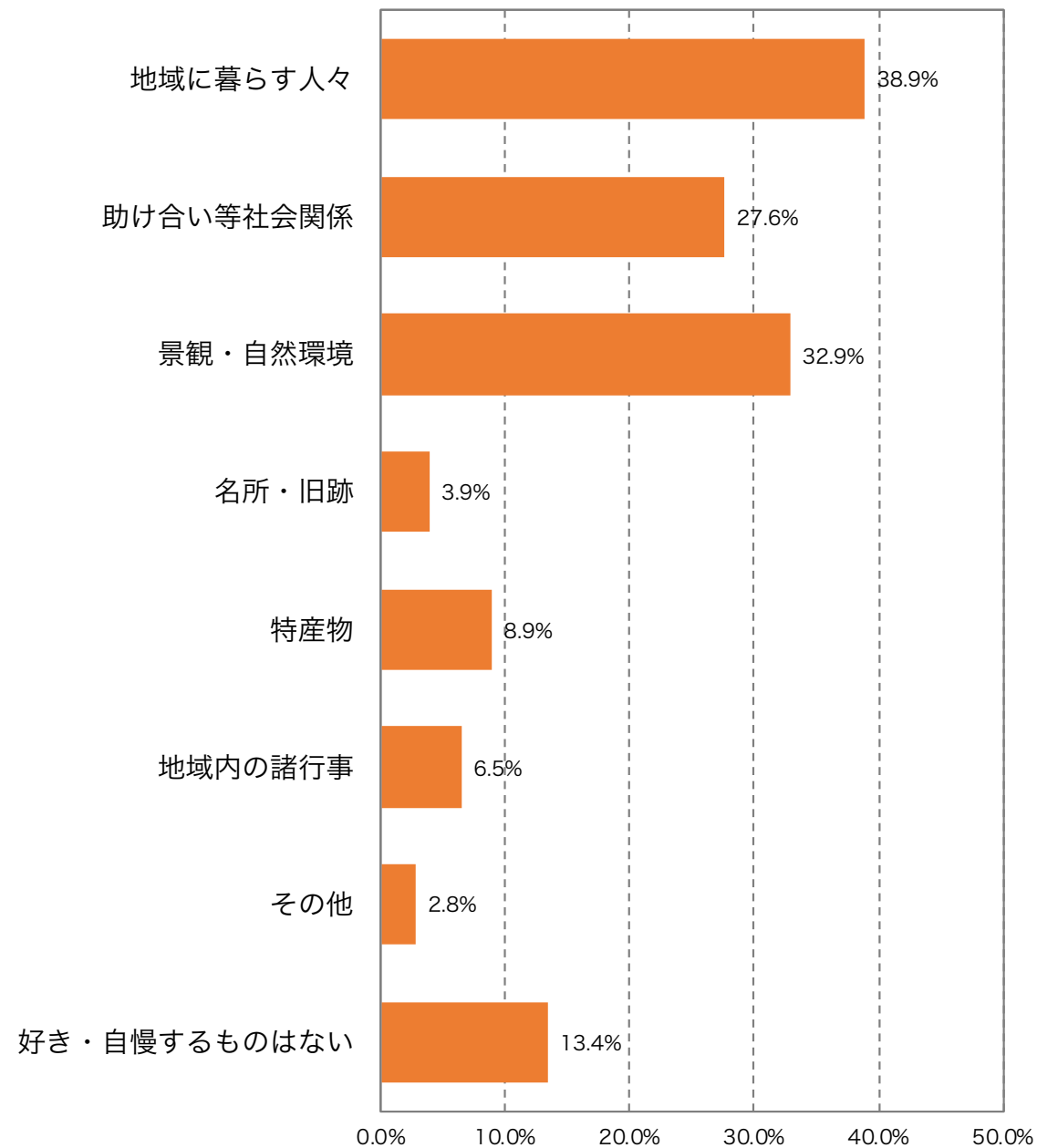
10・20代男性
「わからない」が
5人に1人

思う+やや思う：70.7%

POINT



20～30代女性は**4人に1人**が良いところとっていない。



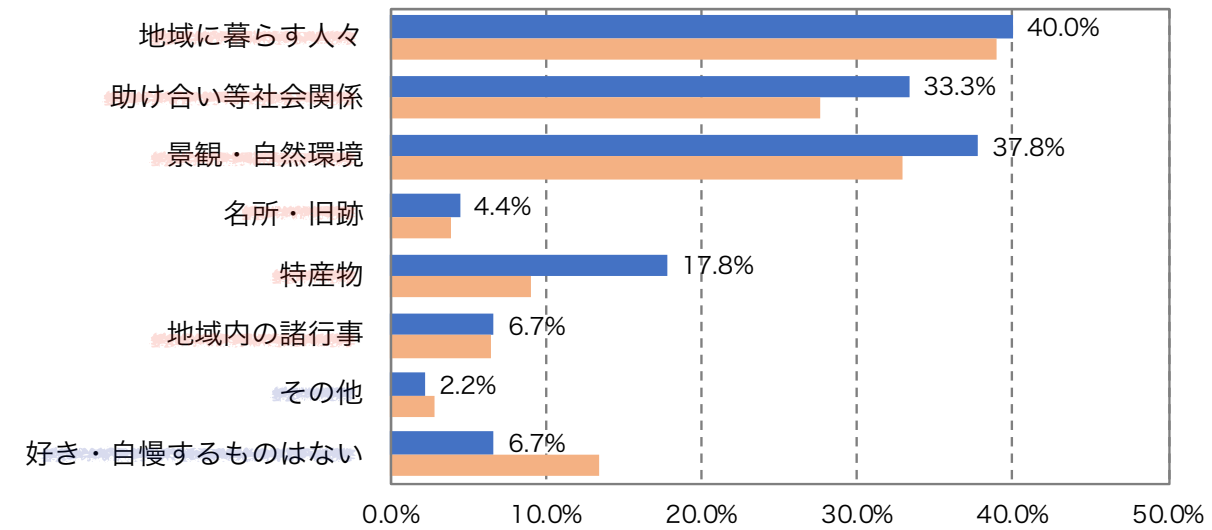
■ 年代ごと

■ 全体

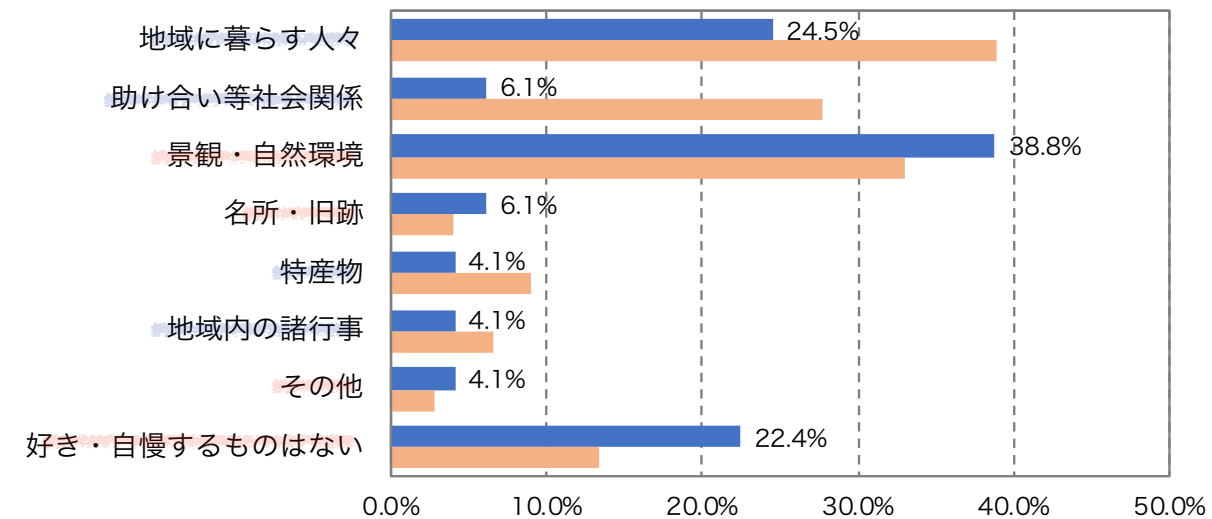
平均より高い

平均より低い

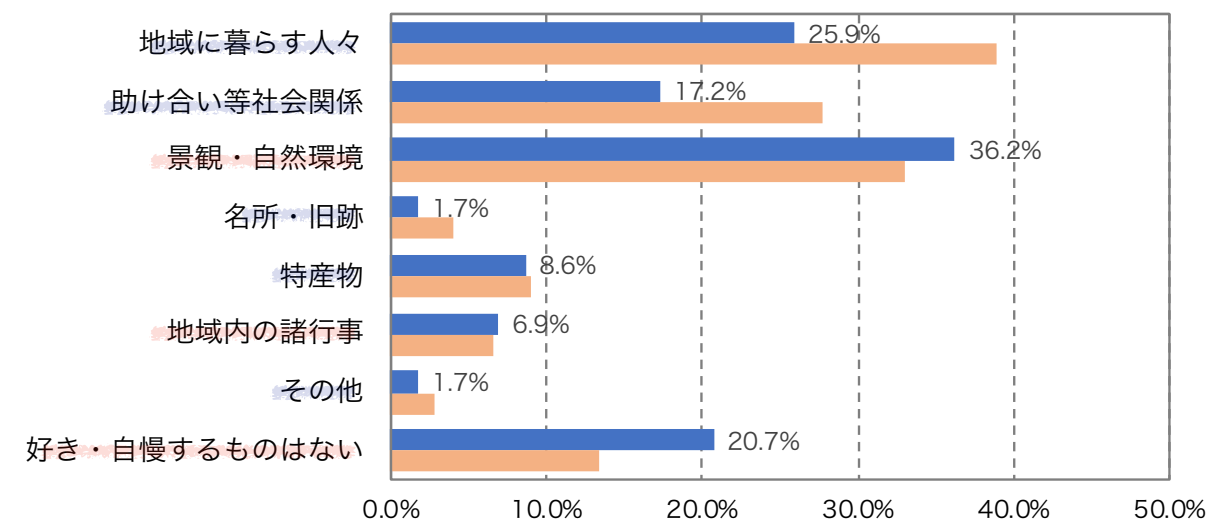
10代



20代



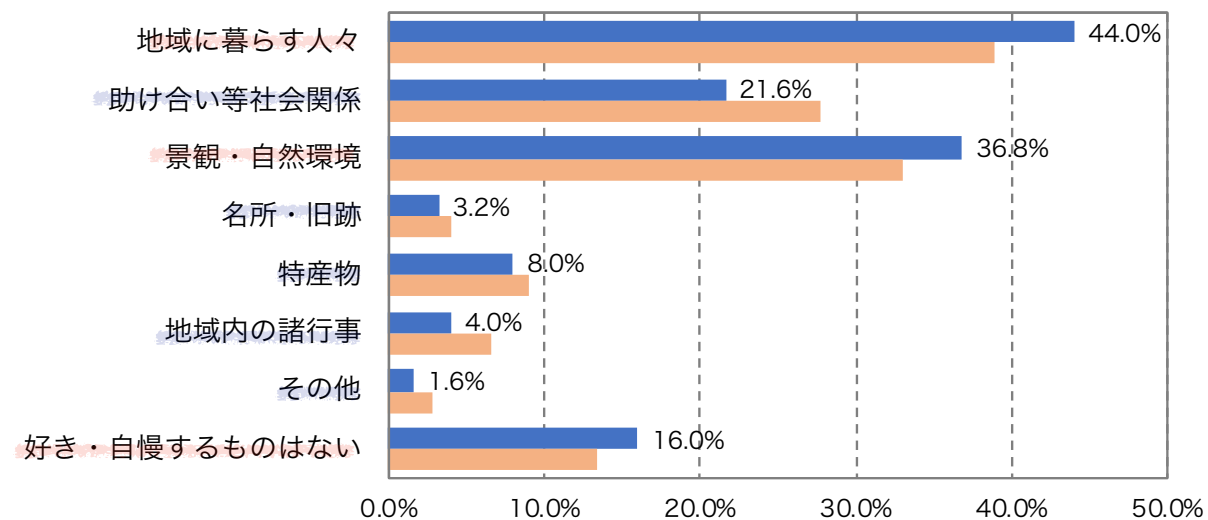
30代



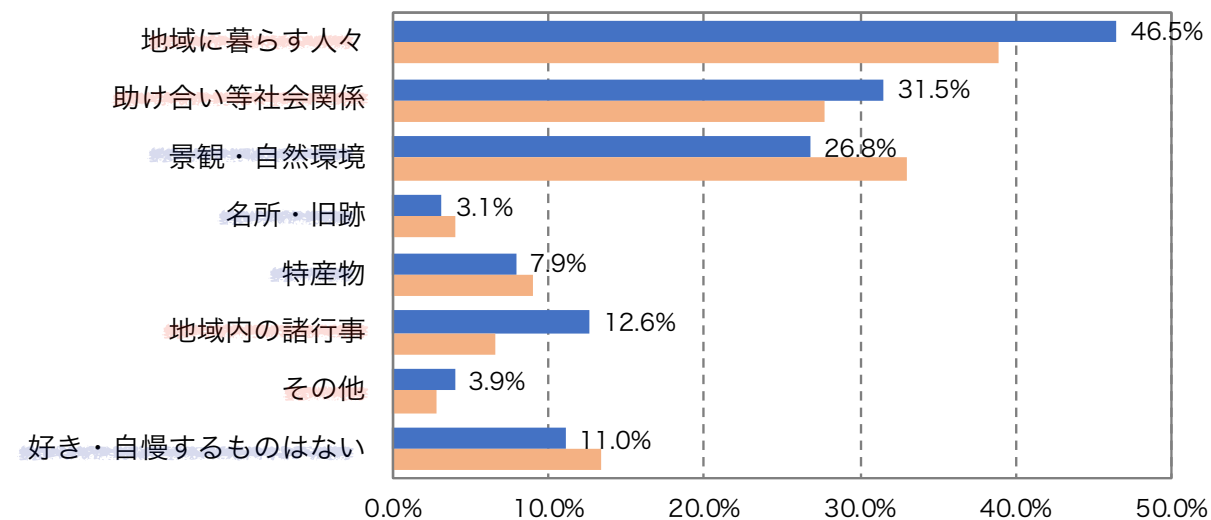
地域への愛着・自慢に思うもの（年代別）

29

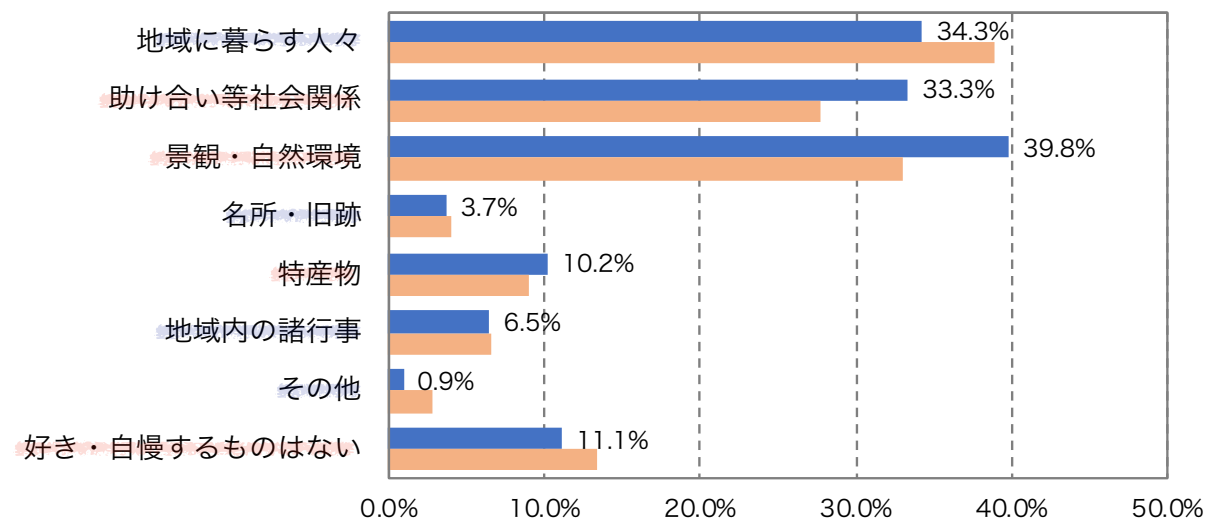
40代



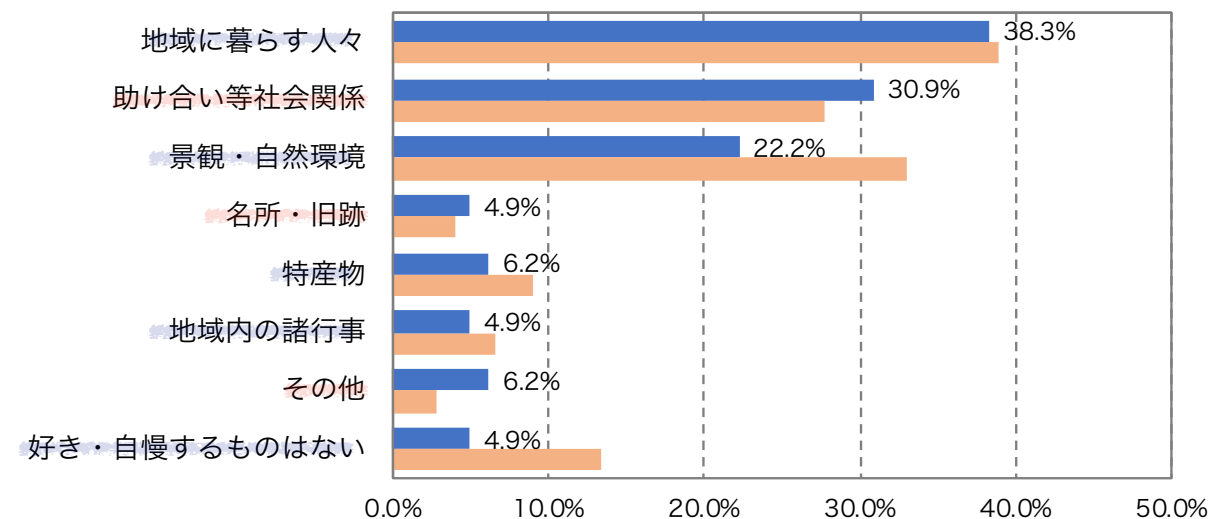
70代



50代



80代以上



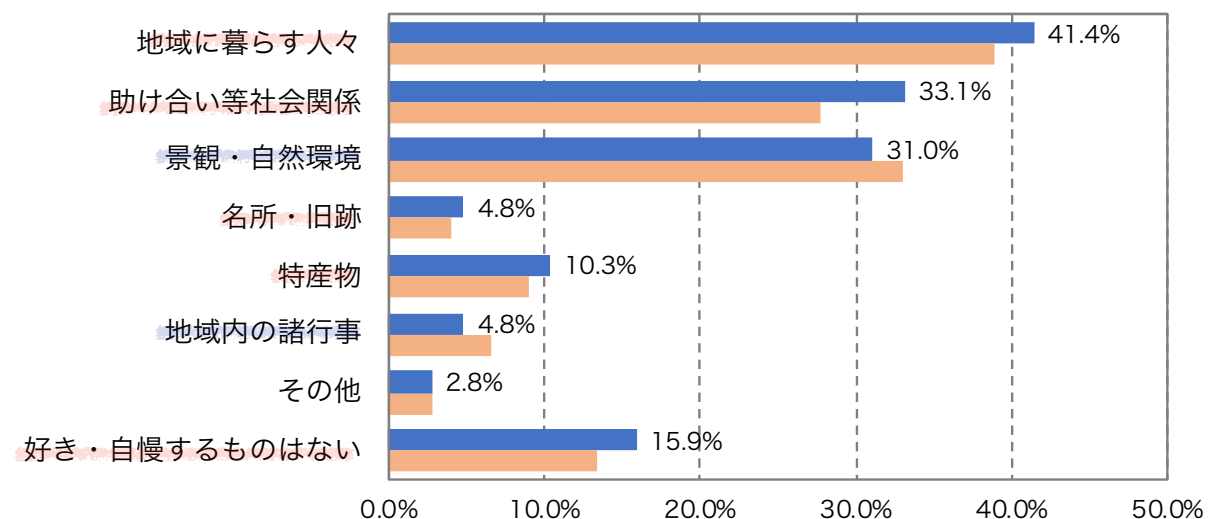
■ 年代ごと

■ 全体

平均より高い

平均より低い

60代

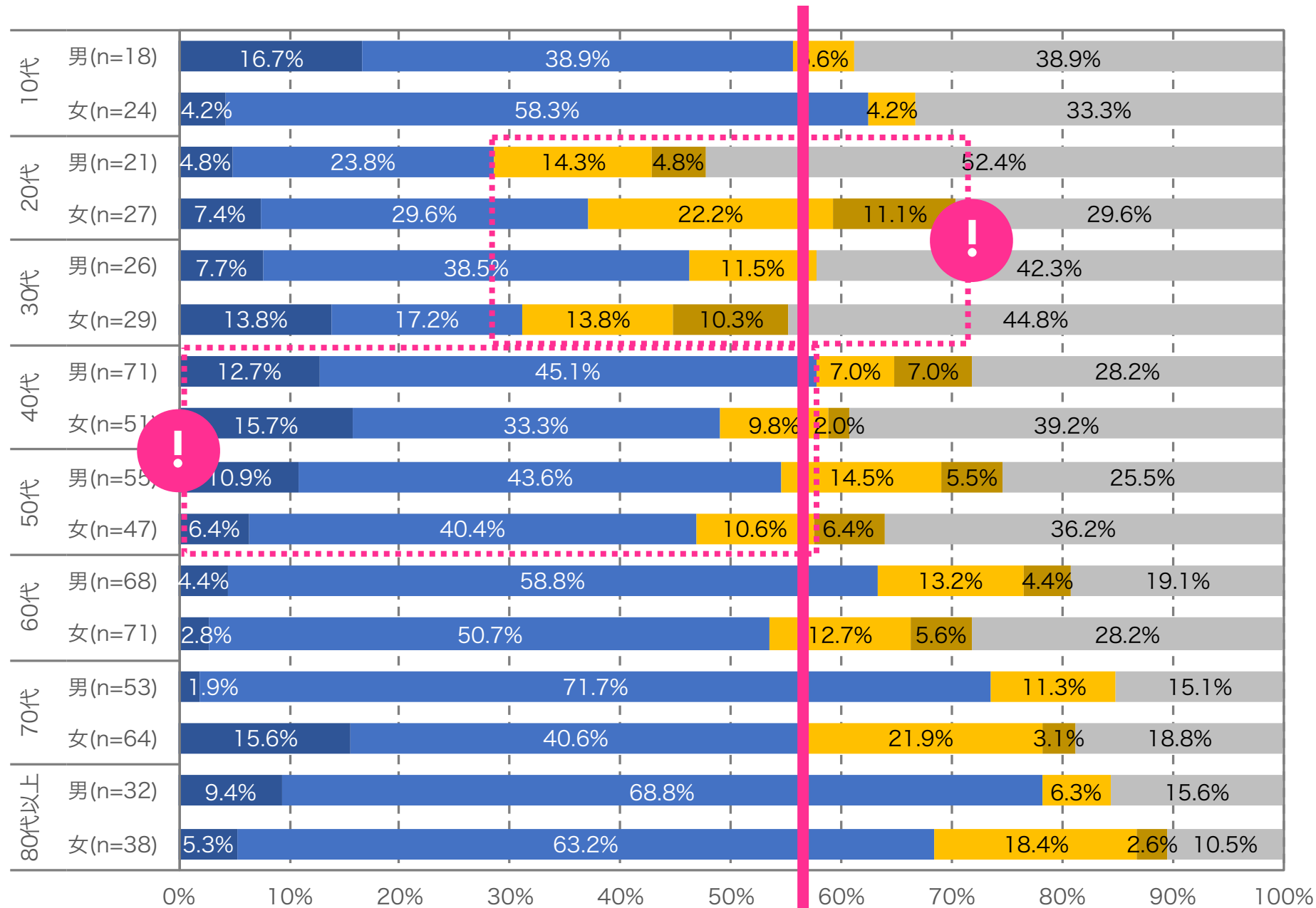


20代～40代までは「好き・自慢するものはない」の割合が平均よりも高くなっており、地域への誇り・愛着が育まれていないことが結果として、定住意向の低さや地域を良いところだと思わない・わからない割合の高さにつながっているのではないだろうか。

地域に対する思いに変化（年代別×性別）

30

■ 以前より好きになった ■ 以前から変わらず好き ■ 以前より好きでなくなった
■ 以前から地域が好きでない ■ わからない



全体平均**56%以上**が
「思う」

全体平均**17%**が
「思わない」

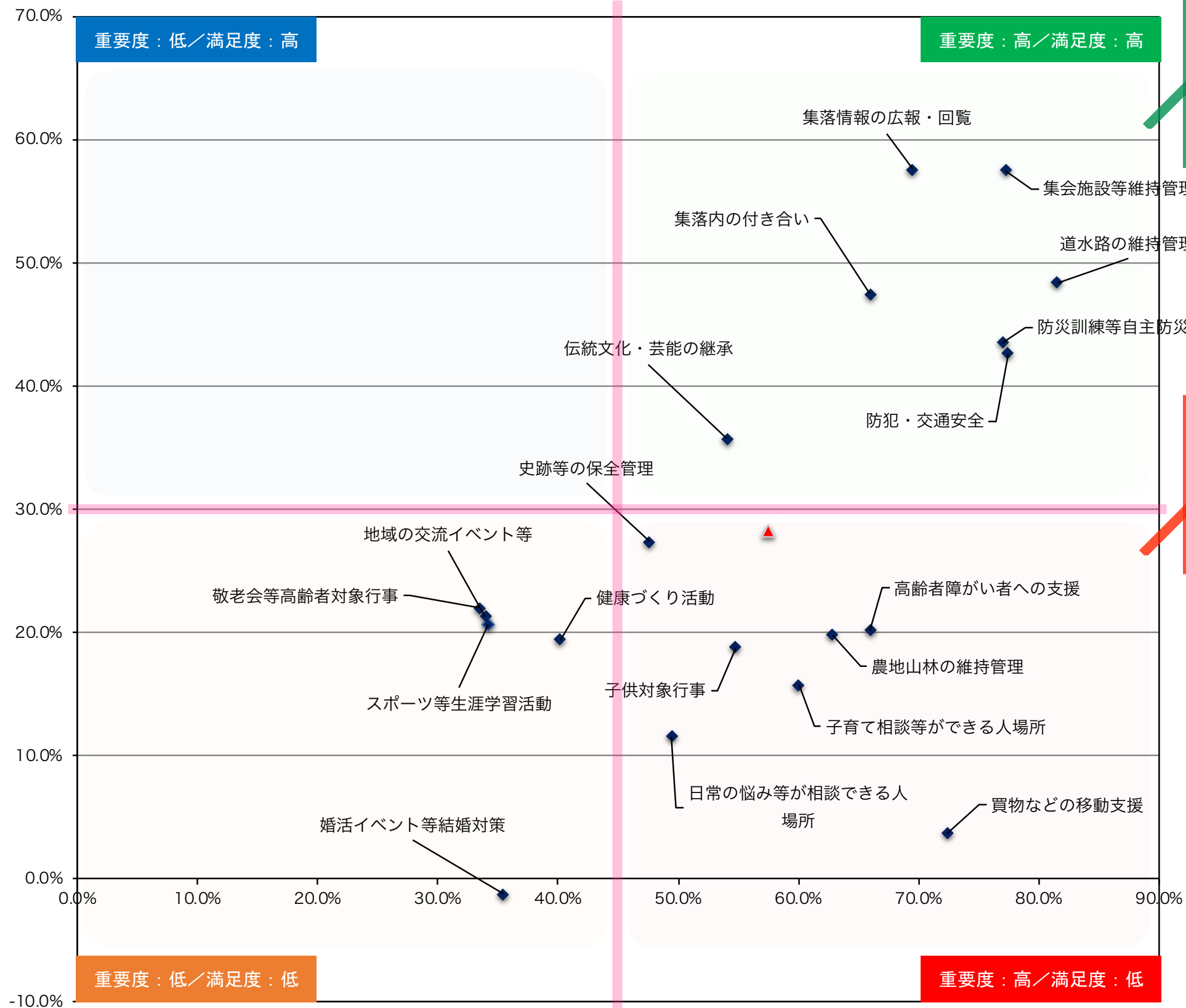
20-30代は他世代と比較して、「以前より好きでなくなった」「以前から地域が好きでない」の割合が高い。一方で、40-50代になると「以前より好きになった」「以前から変わらず好き」が高まっています。40代以降になると、世帯を持ち、地域の共同作業に関わり始めることになるため、その結果、地域に対する思いに変化が生まれているのかもしれませんが、世代が変わることで意識に変容が生まれる何らかの理由があると考えられます。

以前より好きになった＋以前から変わらず好き：55.7%

POINT



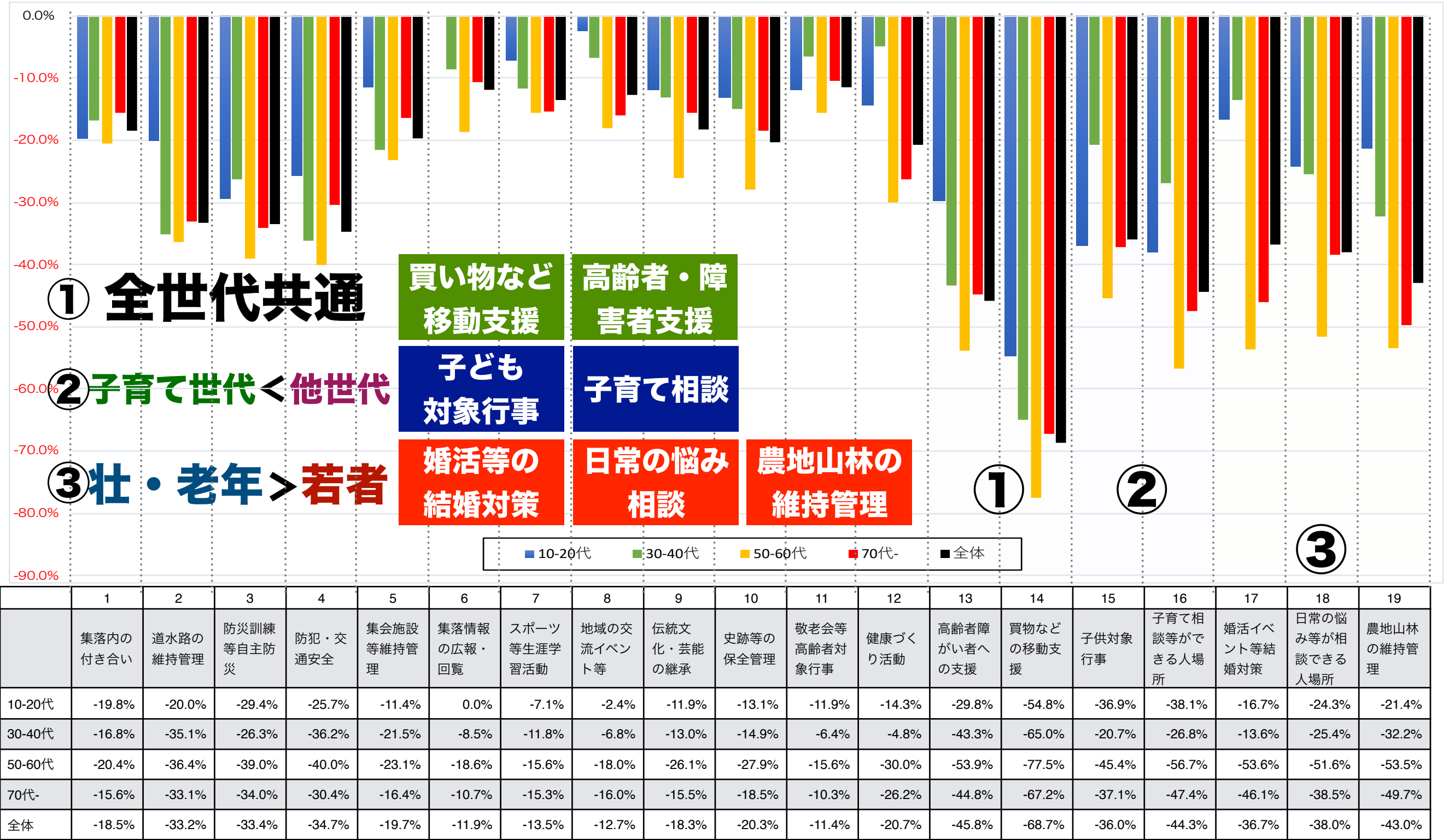
20・30代女性は他の年代と比較して、
好きの割合が低く、好きではないの割合が高い。



この取り組み
維持が必要

この取り組み
重要かつ不足

縦軸は「満足度」で、上にいくほど活動への満足度が高くなります。横軸は「重要度」で、右にいくほど活動が重要性が高くなります。右下の赤枠の部分は「満足度が低く、重要度は高い」となっていて、今後、権現堂として力を入れていく必要がある活動と言えます。（例えば、「買物などの移動支援」など）



グラフが下に伸びているほど、**満足度と重要度にギャップ**（＝現状不満足で、今後重要）が生じていることを意味しています。

①全世代で、「買い物など移動支援」「高齡者・障害者支援」を求めていることや、②子育て世代以外が「子ども対象行事」「子育て相談」の必要性を考えています。また、③壮年・老年世代の方は「日常の悩み相談」や「農地山林の維持管理」といった問題だけでなく、若者より「婚活等の結婚対策」が喫緊の課題だと感じているようです。世代ごとに課題と感じていることの違いを知ることが対話の糸口になります。

これからの地域づくり活動において大切だと思っているテーマ・年代別ランキング（1-10位）

順位	全体			10-20代			30-40代			50-60代			70代-		
	NO	内容	満足-重要	NO	内容	満足-重要	NO	内容	満足-重要	NO	内容	満足-重要	NO	内容	満足-重要
1	14	買い物・通院などの移動支援活動	-68.7%	14	買い物・通院などの移動支援活動	-54.8%	14	買い物・通院などの移動支援活動	-65.0%	14	買い物・通院などの移動支援活動	-77.5%	14	買い物・通院などの移動支援活動	-67.2%
2	13	配食サービスなど高齢者や障がい者の支援活動	-45.8%	16	子育てなどの相談や交流ができる人や場所	-38.1%	13	配食サービスなど高齢者や障がい者の支援活動	-43.3%	16	子育てなどの相談や交流ができる人や場所	-56.7%	19	農地・山林などの維持管理	-49.7%
3	16	子育てなどの相談や交流ができる人や場所	-44.3%	15	子ども会など、主に子ども対象の行事	-36.9%	4	見守り等防犯・交通安全	-36.2%	13	配食サービスなど高齢者や障がい者の支援活動	-53.9%	16	子育てなどの相談や交流ができる人や場所	-47.4%
4	19	農地・山林などの維持管理	-43.0%	13	配食サービスなど高齢者や障がい者の支援活動	-29.8%	2	道路水路の維持管理や美化環境保全	-35.1%	17	婚活イベントや紹介などの結婚対策	-53.6%	17	婚活イベントや紹介などの結婚対策	-46.1%
5	18	日常的な不安や悩みが相談できる人や場所	-38.0%	3	避難/消防訓練・連絡体制など自主防災	-29.4%	19	農地・山林などの維持管理	-32.2%	19	農地・山林などの維持管理	-53.5%	13	配食サービスなど高齢者や障がい者の支援活動	-44.8%
6	17	婚活イベントや紹介などの結婚対策	-36.7%	4	見守り等防犯・交通安全	-25.7%	16	子育てなどの相談や交流ができる人や場所	-26.8%	18	日常的な不安や悩みが相談できる人や場所	-51.6%	18	日常的な不安や悩みが相談できる人や場所	-38.5%
7	15	子ども会など、主に子ども対象の行事	-36.0%	18	日常的な不安や悩みが相談できる人や場所	-24.3%	3	避難/消防訓練・連絡体制など自主防災	-26.3%	15	子ども会など、主に子ども対象の行事	-45.4%	15	子ども会など、主に子ども対象の行事	-37.1%
8	4	見守り等防犯・交通安全	-34.7%	19	農地・山林などの維持管理	-21.4%	18	日常的な不安や悩みが相談できる人や場所	-25.4%	4	見守り等防犯・交通安全	-40.0%	3	避難/消防訓練・連絡体制など自主防災	-34.0%
9	3	避難/消防訓練・連絡体制など自主防災	-33.4%	2	道路水路の維持管理や美化環境保全	-20.0%	5	集落センター等公共設備の維持管理	-21.5%	3	避難/消防訓練・連絡体制など自主防災	-39.0%	2	道路水路の維持管理や美化環境保全	-33.1%
10	2	道路水路の維持管理や美化環境保全	-33.2%	1	集落内の付き合い	-19.8%	15	子ども会など、主に子ども対象の行事	-20.7%	2	道路水路の維持管理や美化環境保全	-36.4%	4	見守り等防犯・交通安全	-30.4%

各世代が重視
するテーマ

全世代が重視するものを除く

子ども行事
防災

防犯・安全
インフラ整備

婚活等の
結婚対策

婚活等の
結婚対策

これからの地域づくり活動において大切だと思っているテーマ・年代別ランキング（11-19位）

順位	全体			10-20代			30-40代			50-60代			70代-		
	NO	内容	満足-重要	NO	内容	満足-重要	NO	内容	満足-重要	NO	内容	満足-重要	NO	内容	満足-重要
11	12	健康体操などの健康づくり活動	-20.7%	17	婚活イベントや紹介などの結婚対策	-16.7%	1	集落内の付き合い	-16.8%	12	健康体操などの健康づくり活動	-30.0%	12	健康体操などの健康づくり活動	-26.2%
12	10	史跡など、地域の歴史に関する保全・管理	-20.3%	12	健康体操などの健康づくり活動	-14.3%	10	史跡など、地域の歴史に関する保全・管理	-14.9%	10	史跡など、地域の歴史に関する保全・管理	-27.9%	10	史跡など、地域の歴史に関する保全・管理	-18.5%
13	5	集落センター等公共設備の維持管理	-19.7%	10	史跡など、地域の歴史に関する保全・管理	-13.1%	17	婚活イベントや紹介などの結婚対策	-13.6%	9	地域の祭りや伝統文化、芸能の継承	-26.1%	5	集落センター等公共設備の維持管理	-16.4%
14	1	集落内の付き合い	-18.5%	9	地域の祭りや伝統文化、芸能の継承	-11.9%	9	地域の祭りや伝統文化、芸能の継承	-13.0%	5	集落センター等公共設備の維持管理	-23.1%	8	地域内外の交流イベント	-16.0%
15	9	地域の祭りや伝統文化、芸能の継承	-18.3%	11	敬老会など高齢者対象の行事	-11.9%	7	サークル、教室、スポーツ少年団など生涯学習の活動	-11.8%	1	集落内の付き合い	-20.4%	1	集落内の付き合い	-15.6%
16	7	サークル、教室、スポーツ少年団など生涯学習の活動	-13.5%	5	集落センター等公共設備の維持管理	-11.4%	6	集落情報の広報、回覧、連絡	-8.5%	6	集落情報の広報、回覧、連絡	-18.6%	9	地域の祭りや伝統文化、芸能の継承	-15.5%
17	8	地域内外の交流イベント	-12.7%	7	サークル、教室、スポーツ少年団など生涯学習の活動	-7.1%	8	地域内外の交流イベント	-6.8%	8	地域内外の交流イベント	-18.0%	7	サークル、教室、スポーツ少年団など生涯学習の活動	-15.3%
18	6	集落情報の広報、回覧、連絡	-11.9%	8	地域内外の交流イベント	-2.4%	11	敬老会など高齢者対象の行事	-6.4%	11	敬老会など高齢者対象の行事	-15.6%	6	集落情報の広報、回覧、連絡	-10.7%
19	11	敬老会など高齢者対象の行事	-11.4%	6	集落情報の広報、回覧、連絡	0.0%	12	健康体操などの健康づくり活動	-4.8%	7	サークル、教室、スポーツ少年団など生涯学習の活動	-15.6%	11	敬老会など高齢者対象の行事	-10.3%

各世代が重視していない
下位のテーマ

地域内外の
交流イベント

集落情報の広
報、回覧、連絡

敬老会など高齢
者対象の行事

① 通院などの移動支援

全ての世代で必要性を強く感じている。移動支援を**必要としている世代**、移動**支援している世代**の2側面あると考えられる。

② 配食サービスなど高齢者や障がい者の支援活動

全ての世代で必要性を感じているが、特に30～60代は他の世代と比較して、相対的に高い。現状、**支援している側からの必要性が強い**ものだと推察される。

③ 子育てなどの相談や交流ができる人や場所

30～40代の子育て中の世代を除いて、全ての世代で必要性が強い。子育て中世代は何に困っている？

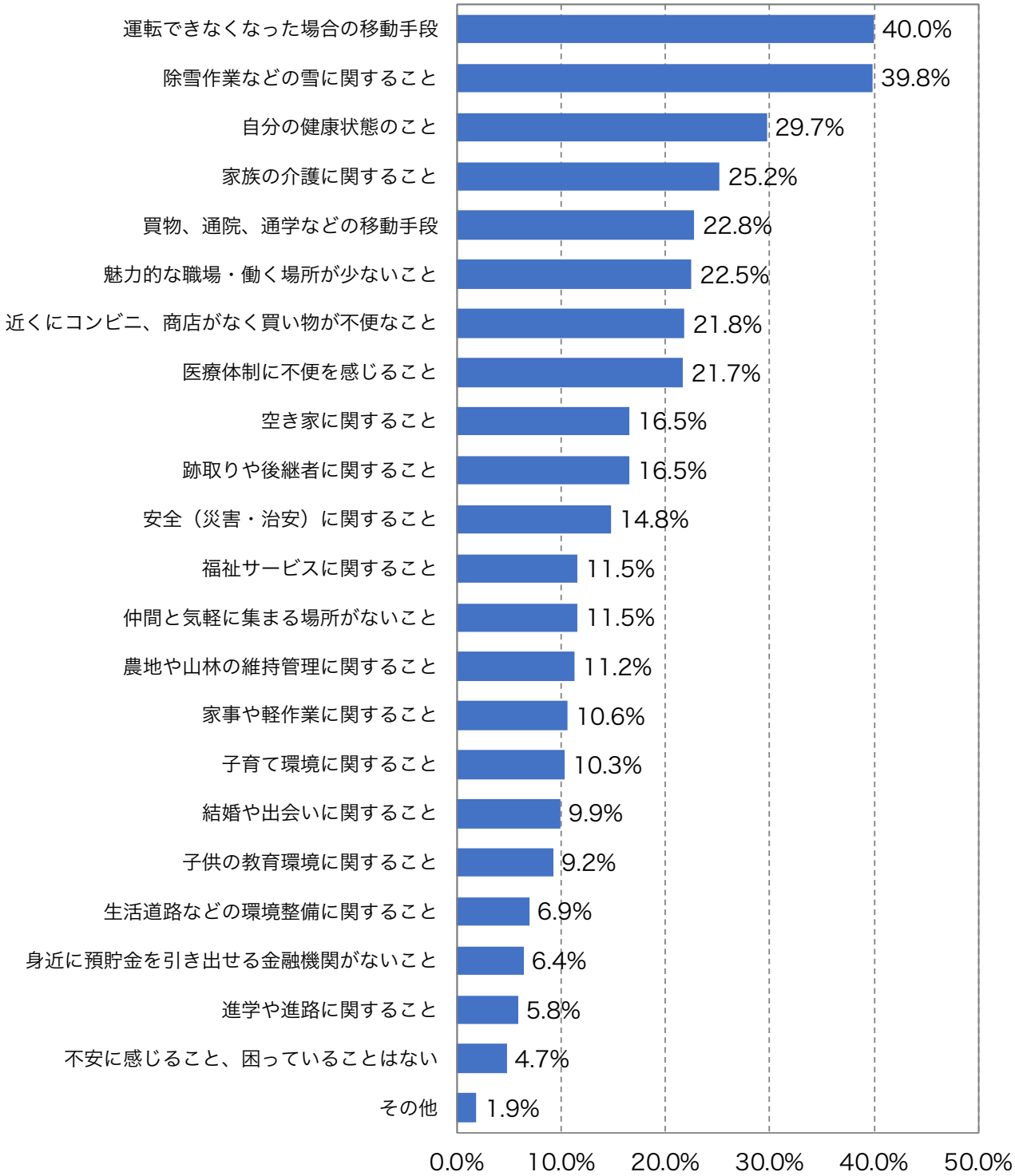
④ 農地・山林などの維持管理

特に50代以降の世代が必要性を強く感じている。

⑤ 日常的な不安や悩みが相談できる人や場所

全ての世代で必要性を感じているが、特に50～60代が他の世代と比較して、相対的に高い。

→集落内に相談できる人が70%以上いるはずだが、そこで満たせない何か困りごとがある？



困りごと

ベスト5

移動手段

除雪

健康

介護

働く場所

※移動手段を重複とみなして選出

10代

近くにコンビニ、商店がなく買い物が不便なこと	28.9%
除雪作業などの雪に関すること	26.7%
仲間と気軽に集まる場所がないこと	24.4%
進学や進路に関する	24.4%
買物、通院、通学などの移動手段	20.0%

20代

除雪作業などの雪に関する	40.8%
魅力的な職場・働く場所が少ない	34.7%
近くにコンビニ、商店がなく買い物が不便なこと	26.5%
家族の介護に関する	22.4%
運転できなくなった場合の移動手段	20.4%

30代

除雪作業などの雪に関する	44.8%
運転できなくなった場合の移動手段	36.2%
医療体制に不便を感じる	27.6%
魅力的な職場・働く場所が少ない	27.6%
子供の教育環境に関する	22.4%

40代

除雪作業などの雪に関すること	46.4%
家族の介護に関すること	37.6%
魅力的な職場・働く場所が少ないこと	35.2%
運転できなくなった場合の移動手段	34.4%
医療体制に不便を感じることに	24.8%

70代

運転できなくなった場合の移動手段	55.9%
自分の健康状態のこと	46.5%
除雪作業などの雪に関すること	37.8%
買物、通院、通学などの移動手段	35.4%
近くにコンビニ、商店がなく買い物が不便なこと	26.0%

50代

運転できなくなった場合の移動手段	48.1%
除雪作業などの雪に関すること	47.2%
家族の介護に関すること	36.1%
魅力的な職場・働く場所が少ないこと	31.5%
医療体制に不便を感じることに/安全（災害・治安）に関すること	25.9%

80代以上

自分の健康状態のこと	42.0%
買物、通院、通学などの移動手段	30.9%
近くにコンビニ、商店がなく買い物が不便なこと	28.4%
除雪作業などの雪に関すること	24.7%
運転できなくなった場合の移動手段/家族の介護に関すること	20.4%

60代

運転できなくなった場合の移動手段	55.2%
除雪作業などの雪に関すること	40.7%
自分の健康状態のこと	37.9%
買物、通院、通学などの移動手段	26.9%
医療体制に不便を感じることに	25.5%

世代ごとの主な特徴

若者・高齢世代	→	コンビニ・商店
子育て世代	→	子どもの教育環境
壮年世代	→	家族の介護
高齢世代	→	自分の健康

年代	記入内容等
10代	・ 若者もお年寄りも住みやすく、ゆったりとした地域。 ・ 若者が集まれる空間を作ってほしい。
	・ 地域の人が協力し合える地域。
	・ 現状が一番住みやすい。
	・ 歩きやすい道がある地域（道の雑草がないとか…雑草が邪魔） ・ 空き家などの状態の悪い建物のない地域
	・ 歩道を作る。 ・ 地域の祭りにもっと人が参加したらもっと活性化すると思う。（近所付き合いが昔より減ったと思う）
	・ 生活する上で不便ではない地域。
	・ 近くにスーパーとかちょこちょこと行かれると良い。
	・ ご近所の人たちと笑顔であいさつが気軽にできるような地域。
	・ 地域の人と仲が良いこと。
	・ 周りとの人間関係が良く、お互いに助け合える地域。

年代	記入内容等
20代	・買い物、交通、遊び、（娯楽）に便利であること。
	・公共交通機関のみで生活できれば住みやすいと思う。しかし魚沼市では難しいと思う。車の無いお年寄りが自由に出掛けられるようなものが整備されれば、住みやすいのかなと思う。
	・子育て支援を充実してほしい。子どもがいる世帯への補助があるとありがたい。
	・子どもを育てやすい地域。
	・若者向けの服屋がほしい。
	・声をかけ合えて、困ってる時助け合える地域。 ・中、高校生や若い人に向けた初心者料理教室やメイク教室、パソコン教室など、社会で役立つ資格を教えてくれる場所があったらいいと思う。
	・もっと色々なイベントを開催してほしい。楽しみが少ないと思うので、ありきたりなもの以外のイベントがあってもいいと思う。 ・ゴミの処理が大変（家具とか）だと思う。リサイクルショップも遠いので不便だなと感じる。 ・もう少し大規模な商店街、ショッピングモールがあればいいなと思う。若い人たちはもちろん、お年寄りの方も暇な時間を持て余しているのかな？という人が多い気がする。

年代	記入内容等
30代	・面倒なことはあまりしない方向で。
	・年齢関係なく話ができる地域。
	・子どもの遊ぶ場所がたくさんある。
	・車がなくても生活できる ・子どもがたくさんいてにぎわってる
	・他の家を干渉することなく、子どもたちやお年寄りも住みやすい地域。
40代	・子どもを育てやすい、子どもがたくさんいる地域 ・子どもが大きくなっても働く所がある地域
	・美しい自然があり、風景を見て心が安まる地域。
	・住みやすい地域とは、もちろん利便性があり医療福祉サービスが充実し、子育てがしやすく活気があり、エネルギーな地域が良いと思いますが、魚沼の地域には、この地域ならではの住みやすさがあると思います。 ・まず「自助・互助・共助・公助」を柱にし、その中でも互助・共助はコミュニティの形成がしっかりとしていないと成しえない部分ではないでしょうか!!地域での重要課題だと思います。
	・初対面の人でも気軽にあいさつができる地域。 ・あいさつを呼びかけるポスターや包装を定期的に行う。
	・程良い距離感でつきあえる地域。

年代	記入内容等
50代	・若者の声が反映される地域。
	・互いに程良い関わりを持ちながら、無理なく協力し合い、より良い社会（環境）を育んでいく地域。 ・子どもを大切にし、地域の子どもをみんなで育てていくという意識を持ちながら、より良い社会（環境）を築いていこうとする地域。
	・近所との助け合い ・コミュニケーションがスムーズにできる事 ・他地域との交流会 ・イベント会場の提供
	・色々な用が近くで足りる ・人間関係の優しい地域 ・安全な環境
	・お互い必要以上に干渉しないで必要な時、助け合いができる。 ・子供達がUターンしてくれるように地域づくりが必要で、それなりの仕事場が必要
	・顔の見える（どこの誰だかわかる）コミュニティ ・隣家との適度な離れ（雪処理スペース）があること（自然環境で人がもめることのないように）
	・自然が豊かで安心して暮らせる場所 ・支え合える地域 ・気楽にコミュニケーションができる人間関係ができる地域

年代	記入内容等
60代	・ 自然が豊かでありながら災害に強い地域 ・ 人情味溢れる地域 ・ 公共交通体制が整っている地域
	・ 犯罪や災害がなく、ライフライン・医療・教育が安価であり、福祉が行き届き穏やかに暮らせる地域 ・ 環境整備、美化活動に取り組む
	・ 地域に企業等沢山有り、住民の税が負担が減少される。企業の誘致…これも冬がネックと思われる。
	・ ゆるやかなつながりがあり、隣近所で助け合いができると良いと思う。
70代	・ 今泉集落内の最も除雪効率の有ると言われる流雪溝が不備と思われます。真冬には水量が非常に減ってしまう。 ・ 上流と下流の川幅が狭く、水と雪がスムーズに流れない。その為除雪する術が無くなる状態に成る。
	・ 子どももお年寄りも安心して生活できる地域。 ・ 力の出せる人は、できる範囲でボランティア活動を行う。
	・ 思いやり、助け合い、共同 ・ 仲間外れを作らない
	・ 気楽にあいさつや会話ができる地域 ・ 恵まれた自然環境をゴミで汚さないよう一人一人の意識を高める運動
80代以上	・ 地域内の助け合いなどの社会関係
	・ 災害の少ない地域 ・ 人と人との交流が楽しくできる地域 ・ 地域の茶の間等で楽しめたらいいと思う

分類	年代	記入内容等
居場所づくり	30代	・ 平日の夕方、子どもが（乳幼児も）集まれる場所や会があると嬉しい ・ 年齢問わず、誰でも参加できる体操を週一で
	50代	・ 常設半公的お茶のみ場を開設。
	60代	・ 他の集落では、ボランティアの人達を中心になって、センターなどで月1回茶話会などがあるようです。そういう場所は好きではない人も多くいるかも知れませんが、月1度10時～15時センター開放で、来られる人から始めてみてはいかがでしょうか。
医療・介護	40代	・ 義父母の介護が必要となった時、勤めと家庭と介護ではお嫁さんも大変なので、負担軽減のため男性の介護者教室を企画していただけると、お嫁さんや皆さんの不安解消になる感じがします。未婚の息子さんと高齢の父母の世帯の方にも有効の感じがします。実技だけでなくどの様なサービスや、サービスまでの流れ、相談機関の紹介等もありがたい感じがします。
	50代	・ 個人の医療機関は、靴をスリッパに履き替えなければならないところがほとんどなのですが、病院のように外履きのまま入れるようにしてほしいです。バリアフリーに。
	50代	・ 魚沼市立病院の今後存続をお願いします。
	70代	・ 家族の介護について、年寄りが多くて皆この道を通って行かなければなりません。そのため、若い人達はみな外に出て働かなくてはなりません。お母さん達も皆勤めていますので、お父さん達も介護の勉強をし、介護教室を開き、家族皆で力を合わせて年寄りのお世話をすると良いと思います。
買い物場所	10代	・ 若い人に向けた服や店が欲しい。（GUとか）
	10代	・ 近くに買い物のできる場所を作してほしい。
	40代	・ 以前は集落へ満州屋さんが車で食品など売りに来ていましたが、今はこれされていないようなので、週に「2回くらい」でも、食品・生活雑貨品などを乗せた移動販売車が来てくれるようになると、お年寄りたちの方々にはとても助かるのでは。

分類	年代	記入内容等
移動手段	80代以上	車に乗れなくなって、通院や買い物等不都合である。
インフラ整備	10代	コンクリートの割れ目から生えている雑草の除草、細い道、歩道の除雪をしてほしい。
	60代	水害が毎年大きくなっている。集落内の水路の安全点検や、大きさの見直しを進めてほしい。
防災・災害対策	60代	日本中災害が増えているが、あまり地域での避難訓練など無いからいいのかと思っています。（住民参加の方が良いのでは？）
	70代	防災のことですが、避難する時大雨だったり暗かったり、今泉の避難所まで行くのはとても勇気が要ります。恐いので動かないで居た方が危なくないのかな…とも考えます。班内に避難できる所があるといいなと考えますが、特に川が恐いです。
仕事	20代	広神地域の求人が少ない。 在宅ワーク、内職情報が知りたい。
	30代	知的障害や精神障害の受け入れてくれる職場が増えてほしい。
人口減少対策・婚活	70代	今一番皆さんが心配していること、困っていることは集落で人口がぐんぐん減っていることだと思います。コミ協ごんげんとして、組織として仲人みないな「世話やきばあさん、じいさんの会」みたいなものを作って活動し、一組でも結婚への話をまとめていただきたいと思っています。
子育て支援・教育	20代	高齢者の支援とあわせて、子育て世帯への支援もしてもらいたいです。

分類	年代	記入内容等
地域運営	20代	男が中心だって考えが古臭い。
	50代	以前この活動に役員として参加していましたが、活動当初は地域づくりを基に医療の事、少高齢化対策、自然環境の維持、婚活などについて話し合いを持って、そのような活動に市補助金が活用されるのかと思っていましたが、具体的な活動計画を作るでもなく、結果的にそれぞれの地域のお祭りの資金に多くが使用されているように感じます。改めて助成金の活用について検討いただきたく思います。
	60代	地域活性化、イベントと称して割り当てられる予算は次世を担う子供たちのために使われるべきだと考える。
集落行事	10代	夏のお祭りがもっと盛り上がるものにしてほしい。（幅広い世代が参加できるようにしたいと思うような行事、内容）
地域の情報発信	70代	権現堂山と登山コースもある。ふもとに有る有名な戸隠神社など魚沼市内及び魚沼市外に宣伝してほしい。
農林山地の維持管理	50代	林の管理の講習会などしてほしい。
アンケートについて	70代	コミ協の調査にしては細かすぎる。この内容なら行政が調査すべきものと思う。調査結果を活かせる根拠が必要である。調査のための調査に終わらせないでほしいものです。

分類	年代	記入内容等
その他	10代	ぜひ自動販売機を作ってください。
	30代	この地域の自然や気候は好きですが、その他は苦手です。家のこと、土地のことを整理できれば、外の地へ引っ越したいです。私達はいずれこの土地を離れるつもりですが、どうか若者には優しい地域であってください。よろしくお願いします。
	50代	人口減少は祭りの参加人数からとても感じます。今後10年20年でもっと減ってくるだろうし、それに伴い細かい色々な事がどうなっていくだろうとは不安に思います。ここはそれ程の災害もなく、行事も年に数回（祭り除く）、決められた事を済ませば良いのですが、主に職場がない、或いは通勤の不便さ、雪の大変さが一番大きい問題かなと思います。これは4地区だけの問題ではないのではないのでしょうか。魚沼市が一丸となって根本的に取り組む必要があると思うのです。ここに定着させるのは、させるだけの魅力だったり支援が必要です。移動手段には4地区合同で一台バスを週一回運行させるとか、冬の除雪に関しては、その費用を申請でなく補助金としていただく、長靴1足、スノーダンプ1台…その程度で良いから一家に一台きちんとした物を備える。結局は一番の基本となる所が自分達の事だけでなく“市”という大きい地域の将来性を長い目で創造し考えなくてはならない事で、それがそれぞれの地域を活性化していく事につながってゆくと思います。
	70代	後期高齢者になったので不安がないことはありませんが、振り返ってみれば、子育て中はボロでもこの戸建てで子どもが騒いでも隣近所に気を遣う必要はなし。年取って辺りの草も取れなくなったけど（近所の家も同じになってきた）、誰に迷惑をかける訳でもない。アパートや社宅に比べてどんなに心の贅沢を満喫してここまで来たことか。雪や雨、風は仕方のない事。この地域で良いことがいっぱいあったと思います。 もう1つは、安全、安心について。自分のドジや物忘れは少々不安ですが、この地域に住んでいての不安などがほとんどないのは、駐在所をはじめ地域の指導者の方々が常に住民の安全を考えて、いろいろお骨折りをしてくれているお陰だと思っています。 我が家は「じゃまはしないけど役には立たない家庭」自分勝手です。自分の事だけでなく住民の為に心を砕き、お骨折りいただいている方々に感謝しています。「守ってもらっている」という気がします。

！ 80代以上は車を運転する人が減少

生活用品や食料品を集落内で購入する割合が増加する

！ 高齢者の移動・生活支援が求められている

支援される高齢者だけでなく、支援する側の世代（30～60代）も、移動・生活支援を切実に求めている可能性

！ 地域の60%以上の人が団体等に所属していない

！ 行事には60%以上が参加している

！ 共同作業は男性70%以上参加、女性30%程度

！ 地域の運営には、40・50代がもっと若者の声が反映された方が良いと回答

！ 集落内の付き合いは80%程度の人が満足

20～60代では、仕事や行事が多く忙しすぎ、という回答も1割

高齢世代の割合が高まる将来を見越した、移動・生活支援のあり方は？

次世代がより参画しやすい形に配慮が必要か？

！ 地域内外との交流は重要度・満足度とも低い

全ての世代で同じ傾向にあるが、年代ごとの内訳で見えていくと、男性では交流意向が高い世代が多い一方で、女性は意向が低い

目的や動機の共有
が大切に

！ 地域全体の60%以上が、移住・定住受入が必要だと認識 特に40～70代が積極的に受入を進めるべきだと認識

！ 地域全体で70%以上が住み続けたい。

しかし、10,20代の若者や30,40代の子育て中の女性が低い

！ 自分の子どもに地域に住んでもらいたいと思う割合は 50%。一方で、思わない割合も25%

特に子育て中の親世代の女性は40%以上が思わない

受入、住み続けて
いきたいと思うた
めに何を解消する
必要があるか？

！ 20～30代は地域のことを「以前より好きでなくなった」「以前から好きでない」の割合が他の年代と比較しても高い。また、「以前より好きになった」「以前から変わらず好き」という割合が低い。



若者世代が地域に
誇り・愛着を持つ
ためには？

！ 20～30代の女性の25%が地域を良いところだと思っていない



！ 40代以下は、田畑の維持管理「わからない」が50%以上

50代以上は現状維持か、全て作業委託で維持したい意向。ただし、70代以上では耕作放棄するかもしれないと答えた人が5%程度いる。



将来的な田畑など
の維持管理はどう
すると良いか？

！暮らしの中の困りごとトップ5は、

- ①運転できなくなった場合の移動手段
- ②除雪作業などの雪に関すること
- ③自分の健康状態のこと
- ④家族の介護に関すること
- (⑤買い物・通院・通学などの移動手段) ※①と同じ意味としてカウント
- ⑥魅力的な職場・働く場所が少ないこと



健康や介護、移動、
悩み相談など、地域
における福祉課題の
解消が求められてい
る。

！今後、重点的に取り組むべき地域活動テーマの トップ5は、

- ①通院などの移動支援
- ②配食サービスなど高齢者や障がい者の支援活動
- ③子育てなどの相談や交流ができる人や場所
- ④農地・山林などの維持管理
- ⑤日常的な不安や悩みが相談できる人や場所



ただし、世代によっ
て困りごとも求めて
いることも異なるた
め、少数派の若者を
中心に、世代ごとの
意見を深掘りして、
丁寧に扱う必要があ
る。